

E 0 4 - 0 6

研究報告 第 4 2 7 号

研修事業充実のための調査研究

～「千葉県教職員研修体系」に基づく「教職ライフステージ研修」を中心に～

平成 2 9 年 3 月

千葉県総合教育センター

序

平成２２年１月、「千葉県の教育を元気にする有識者会議」において研修制度のあり方が取り上げられ、教員が主体的に参加する双方向型の講座を開設したり、時代の変化に伴う教育課題や社会問題を積極的に取り入れるなど、教員自らが意欲を持って参加できる、実践的な教育力の向上につながる研修のあり方が討議されました。これを受けて同年３月、「第１期千葉県教育振興基本計画」において「教育現場を重視し、教職員の質と教育力の高さでトップを目指す」ことが提言され、県教育委員会は、今後１０年間を見通した課題を明らかにし、研修事業の見直しの方向性を示した「千葉県教職員研修体系」を制定しました。

あれから７年が経ち、社会、世界は激しく動き、さらに加速度的に変化しようとしています。そのような先行き不透明な時代を生き抜く子どもたちの将来を見据えて、新しい学習指導要領の実施が迫っています。今後は、2030年を想定し、子どもたちにこれからの時代に求められる資質・能力を育成するために、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が必要となります。それには、われわれ教職員が常に学び続け、これまで以上に研究と修養に努めなければならないことは明らかです。一方、教育公務員特例法の一部改正を踏まえた新たな研修体系構築を目指す時期にあたり、これまでの「千葉県教職員研修体系」の成果や課題を検証することは、極めて重要な意味を持っています。

本研究では、「千葉県教職員研修体系」に基づく「教職ライフステージ研修」における研修生、研修生を現場で指導する各学校への調査、各市町村教育委員会からの情報提供等を通して、これまでに実施してきた研修事業の成果と課題についての検証を進めてきました。この研究が、千葉県、各市町村及び各教育機関において、今後どのような研修体系のもと、どのような研修内容や研修方法が望ましいかについて検討するための一助となれば幸いです。

終わりに、本研究を進めるに当たり御協力いただいた研修生の皆さん、各学校の管理職の先生方、各市町村教育委員会の先生方に心より感謝申し上げます。

平成２９年３月

千葉県総合教育センター所長 安藤 久彦

目次

1	主題	1
2	主題設定の理由	1
3	研究の目的	2
4	研究の内容	2
5	調査の対象と方法	2
6	研究計画	5
7	調査結果と考察	5
	(1) 研修内容の必要性及び研修方法の有効性についての調査	
	(研修生及び管理職対象)	5
	研修生対象調査	5
	管理職対象調査	12
	研修生対象調査と管理職対象調査との比較	16
	(2) 実際の研修内容との比較	17
	(3) 教職ライフステージ研修における枠組について(管理職対象調査)	18
	(4) 市町村教育委員会(教育センター)等が独自に行っている	
	教職員研修事業について	24
8	研究のまとめ	25

【資料編】

1 主題

研修事業充実のための調査研究

～「千葉県教職員研修体系」に基づく「教職ライフステージ研修」を中心に～

2 主題設定の理由

社会の急激な変化や教育関連法規の改正に伴い、教育への新たなニーズが生じている。平成22年1月「千葉県の教育を元気にする有識者会議」において、変化に伴う教育課題や社会問題に対応するために、教員自らが意欲を持って参加できる、実践的な教育力の向上につながる研修制度に変革するための取組の必要性が討議され、「教育現場を重視し、教職員の質と教育力の高さとでトップを目指す」ことが提言され、同年3月、現行の「千葉県教職員研修体系」が制定されるに至った。

その中で、本県においては10年間を見通した際に「経験豊富な教員の大量退職に伴い増加する若手教員等の育成が急務である」ことなどが課題として強調され、これらに対応するために、①「一極集中研修」から「地域に根ざした研修」へ、②「受動的画一研修」から「能動的自立研修」へ、③「県教育委員会中心の研修」から「外部との連携を強めた研修」への3点が、研修事業の見直しの方向性として示された。これに基づき研修事業総合計画が策定され、翌年度から現行の研修事業が実施されている。

しかし、この「千葉県教職員研修体系」も実施から数年が経ち、成果や課題について検証されねばならない時期に来ている。実施状況についての情報も蓄積されているところではあるが、早急にそれらを整理し、さらに詳細な調査を行っていく必要があると考えた。例えば「教員としての力量を高めるためにどのような内容の研修を必要と感じているか」ということに関して、実際研修生はどのような意識を抱いているか。また、育成すべき立場にある所属校の管理職はどのような意識を抱いているか。その双方を調査することにより、成果や課題についてより客観性が得られるものと考えた。

平成27年4月からは「新 みんなで取り組む『教育立県ちば』プラン」（第2期千葉県教育振興基本計画）がスタートし、この中において、「信頼される質の高い教員の育成」が重点的な取り組みの方向性の一つとして謳われている。千葉県教育をめぐる現状と千葉県教育のめざす姿、具体的な取組等を踏まえた上で、実際に研修生や管理職は、研修事業にどのような意識を抱いているかを明らかにしていくことにより、より成果や課題が具体的なものとして見えてくるのではないかと考える。本県研修事業の成果や課題を整理し、その上で今後どのような研修体系のもと、どのような研修内容や研修方法が望ましいかについて、何らかの提言を行うための資料としたい。

3 研究の目的

「教職ライフステージ研修」を中心に、研修についての研修生、管理職の意識を調査し、研修事業充実のための一助とする。

4 研究の内容

- ① 研修生を対象とする調査の実施、集計及び分析
- ② 管理職を対象とする調査の実施、集計及び分析
- ③ 「千葉県教職員研修体系」に基づく「教職ライフステージ研修」実施状況の調査
- ④ 市町村教育委員会の教員の資質能力向上に関する取組の調査
- ⑤ 研修事業の成果や課題の明確化と、充実のための提言

5 調査の対象と方法

- ① 研修生を対象とする調査の実施、集計及び分析

調査の対象は、次の研修事業の研修生とし、総合教育センター等における研修時にアンケート調査を実施。(小・中学校は平成26年度、高等・特別支援学校は平成27年度に実施)

(小・中学校は政令市、中核市を除く市町村立)

- フォローアップ研修Ⅰ〈小学校・中学校・高等学校・特別支援学校〉
(小 472名 中 292名 高 211名 特 159名)
- フォローアップ研修Ⅱ〈小学校・中学校・高等学校・特別支援学校〉
(小 457名 中 199名 高 192名 特 173名)
- 5年経験者研修〈小学校・中学校・高等学校・特別支援学校〉
(小 384名 中 189名 高 175名 特 108名)
- ステップアップ研修〈小学校・中学校・高等学校・特別支援学校〉
(小 352名 中 185名 高 119名 特 72名)
- 10年経験者研修〈小学校・中学校・県立学校等〉
(小 203名 中 84名 高 56名 特 69名)

- ② 管理職を対象とする調査の実施、集計及び分析

調査の対象は、次の市町村立学校及び県立学校の管理職とした。

(小・中学校は平成26年度、高等・特別支援学校は平成27年度に実施)

- 政令市、中核市を除く市町村立小学校・中学校
(小 610校 中 278校)
- 県立高等学校・特別支援学校、市立高等学校・特別支援学校
(高 130校 特 40校)

※ 研修生、管理職対象調査における「研修内容の必要性」、「研修方法の有効性」についての質問項目(調査票は巻末「資料編」を参照)

【研修内容の必要性】(19項目)

(研修生) あなたは現時点で以下の研修をどの程度必要であると感じていますか。

(管理職) ステージ1, ステージ2, ステージ3の各ステージにおいて、次の内容の研修は、どの程度必要だと思いますか。

〔選択肢〕「とても必要である・必要である・あまり必要でない・必要でない」

1. 幅広い教養や豊かな人間性を身につけるための研修
2. 教員としての姿勢や心構え，使命や責任についての研修
3. 国や県の教育施策，教育法規に関する研修
4. 今日的教育課題に対応するための研修
5. 教科に関する研修
6. 道徳，特別活動，総合的な学習の時間に関する研修
7. クラブ活動や部活動に関する研修
8. 学級経営や学年経営に関する研修
9. 生徒指導に関する研修
10. 児童生徒理解に関する研修
11. 特別支援教育に関する研修
12. 児童生徒と教師，児童生徒同士の人間関係づくりや集団づくりに関する研修
13. 思いやりの心や，豊かな人間性を育むための研修
14. 児童生徒の健康や安全に関する研修
15. 学校全体の教育の方向性や組織のあり方に関する研修
16. 校内研修のあり方や進め方に関する研修
17. 学校の危機管理に関する研修
18. 保護者や地域との関わり方に関する研修
19. メンタルヘルスに関する研修

【研修方法の有効性】（５項目）

（研修生）あなたは自分の力量を高めるために，以下の研修方法は，有効だと思いますか。

（管理職）ステージ１，ステージ２，ステージ３の各ステージにおいて，次の方法の研修は，どの程度有効だと思いますか。

〔選択肢〕「とても有効である・有効である・あまり有効でない・有効でない」

1. 研修生同士で協議したり発表し合ったりすることで，課題や成果を共有する研修
2. 主体的に計画を立て，授業研究を行ったり研修会等に参加したりする研修
3. 校内等の部会やグループで，授業研究等を行う研修
4. 他校や異校種での体験，社会奉仕活動，自然体験による研修
5. 専門家や有識者，経験者等から講義や講話を受ける研修

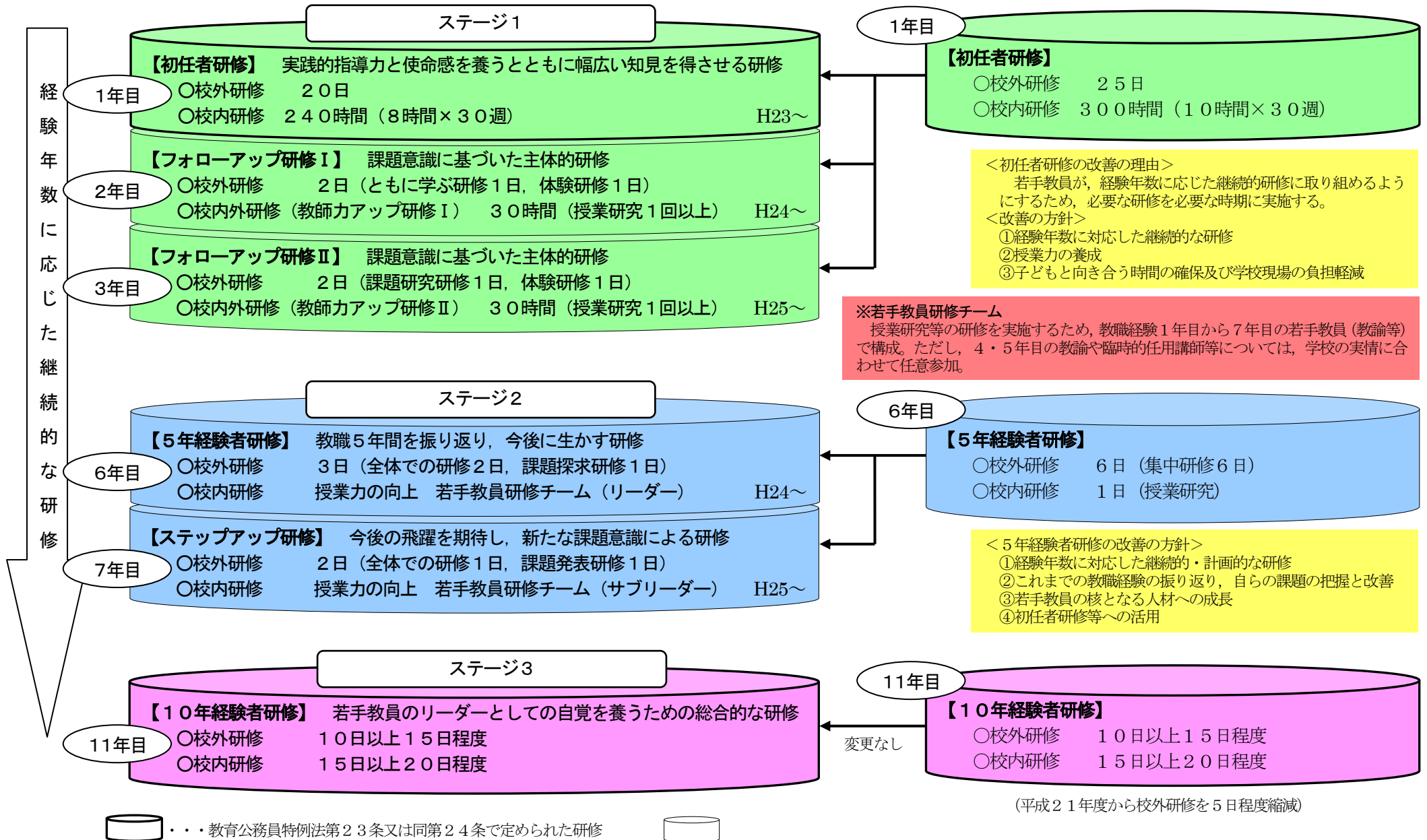
③ 「千葉県教職員研修体系」に基づく「教職ライフステージ研修」実施状況の調査
「教職ライフステージ研修」の研修内容に関しては，センター研修企画部研修実施要項等をもとにした。

④ 市町村教育委員会の教員の資質向上に関する取組の調査（５４市町村等）
千葉県総合教育センター主管の「教職ライフステージ研修」に関連して実施している研修及びそれ以外に各市町村で実施している研修。

※ 教職ライフステージ研修では，以下のように設定している。（次頁参照）
ステージ１→初任者研修，フォローアップ研修Ⅰ，フォローアップ研修Ⅱ
ステージ２→５年経験者研修，ステップアップ研修
ステージ３→１０年経験者研修

「教職ライフステージ研修」概要（新旧比較）

<旧体系>



6 研究計画

平成26年度	平成27年度	平成28年度
○調査目的・調査対象の明確化 ○事前調査（研修事業の実施状況の把握） ○調査方法の策定及び、調査計画の立案 ○小学校・中学校研修生対象調査の実施，集計 ○小学校・中学校管理職対象調査の実施，集計	○小学校・中学校研修生及び管理職対象調査の分析 ○市町村教育委員会の取組の調査 ○高等学校・特別支援学校研修生対象調査の実施，集計 ○高等学校・特別支援学校管理職対象調査の実施，集計 ○高等学校・特別支援学校研修生及び管理職対象調査の分析 ○「教職ライフステージ研修」実施状況の調査	○全ての調査結果の分析，考察 ○研修事業の成果や課題の明確化 ○研修事業の成果や課題の改善策の検討 ○充実のための提言の作成 ○調査研究報告書の作成

7 調査結果と考察

（１）研修内容の必要性及び研修方法の有効性についての調査

（研修生及び管理職対象）

研修生対象調査

【研修内容の必要性】

ア 全体を通して

- 「とても必要」「必要」を含めると、ほとんどの項目において、研修の必要性を感じている。（研修生平均84.9%）（表１，２）

- 全校種，ステージを通して「とても必要」＋「必要」の割合が特に高い項目（研修生）

①	今日的教育課題に対応する	96.4%
②	生徒指導	94.4%
③	児童生徒理解	94.0%

- 全校種，ステージを通して「とても必要」＋「必要」の割合が特に低い項目（研修生）

①	クラブ活動や部活動	56.9%
②	校内研修のあり方や進め方	64.9%
③	メンタルヘルス	72.9%

表 1 研修内容の必要性，研修方法の有効性（ステージ別，校種別，対象別）

質 問 項 目		研 修 生 対 象										管 理 職 対 象													
		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校									
		ステージ1	ステージ2	ステージ1	ステージ2	ステージ1	ステージ2	ステージ1	ステージ2	ステージ1	ステージ2	ステージ1	ステージ2	ステージ1	ステージ2	ステージ1	ステージ2								
教員の資質	幅広い教養や豊かな人間性を身につける	95.9	91.4	97.6	96.3	93.0	89.5	90.2	84.1	82.5	92.4	89.3	89.9	97.7	98.4	92.4	97.5	97.5	91.3	93.8	93.1	80.8	100.0	95.0	85.0
	2.教員としての姿勢や心構え、使命や責任について	87.0	84.1	90.6	86.2	83.3	87.4	81.0	72.5	75.4	86.7	84.3	79.7	99.7	98.0	90.8	99.3	97.5	87.7	100.0	99.2	85.4	100.0	97.5	90.0
	3.国や県の教育施策、教育法規	77.6	82.0	88.6	72.7	74.4	82.8	70.0	71.2	77.2	82.9	83.6	91.3	92.1	96.7	98.5	88.1	92.8	96.4	91.5	97.7	99.2	85.0	100.0	100.0
	4.今日の教育課題に対応する	95.8	96.0	99.5	96.7	95.5	97.7	94.5	92.9	96.5	97.3	98.9	95.7	96.4	99.0	99.0	95.7	98.9	99.6	93.1	100.0	100.0	95.0	100.0	100.0
職務遂行・実践的	5.教科に関する研修	98.7	97.7	97.1	98.2	94.3	100.0	95.0	93.9	87.5	94.6	84.9	75.4	99.5	99.0	92.3	100.0	100.0	92.8	100.0	100.0	88.5	100.0	100.0	87.5
	6.道徳、特別活動、総合的な学習の時間	98.5	96.0	96.7	98.2	95.0	95.4	86.5	77.3	71.9	94.3	89.3	79.7	99.3	98.5	91.9	99.6	98.9	91.6	98.5	97.7	86.2	100.0	100.0	87.5
	7.クラブ活動や部活動	65.5	53.3	45.3	72.9	62.5	67.8	73.6	61.0	56.1	55.6	38.2	30.4	69.3	59.3	46.3	88.5	76.3	58.5	89.2	72.3	54.6	60.0	60.0	47.5
	8.学級経営や学年経営	97.8	95.2	95.3	98.0	92.7	88.5	94.5	84.7	84.2	94.9	85.4	87.0	99.5	99.3	96.7	99.3	98.6	94.2	99.2	98.5	94.6	95.0	97.5	95.0
	9.生徒指導に関する研修	97.7	95.6	95.7	98.4	93.9	93.0	95.2	87.1	89.5	97.6	93.1	95.6	99.3	99.3	98.4	98.6	98.6	94.2	100.0	99.2	93.8	100.0	97.5	97.5
	10.児童生徒理解	97.2	95.4	96.2	97.7	92.6	91.9	92.2	85.4	89.5	98.5	97.7	94.1	100.0	99.7	96.4	100.0	98.9	95.7	100.0	99.2	93.8	100.0	95.0	92.5
	11.特別支援教育	99.1	96.4	97.6	96.1	91.4	91.9	88.5	83.2	86.0	97.6	96.6	97.1	99.5	99.8	99.5	98.6	98.2	97.1	98.5	99.2	98.5	100.0	100.0	95.0
	12.児童生徒と教師、児童生徒同士の人間関係づくりや集団づくり	97.0	93.3	93.3	95.9	91.8	91.9	88.7	79.2	87.7	96.0	90.3	86.8	100.0	99.2	92.1	99.6	97.8	90.6	99.2	95.4	85.4	100.0	100.0	90.0
指導力の向上	13.思いやりや心の、豊かな人間性を育む	99.7	99.9	99.5	99.8	99.4	98.7	84.2	76.9	86.0	95.7	90.8	89.6	99.5	99.2	95.6	99.6	97.1	92.8	99.2	97.7	91.5	100.0	100.0	92.5
	14.児童生徒の健康や安全に関する研修	90.3	86.5	89.4	85.9	83.2	79.1	85.4	74.8	73.7	94.8	92.6	79.4	98.9	97.9	94.9	99.3	95.7	90.3	98.5	96.9	90.0	100.0	100.0	92.5
	15.学校全体の教育の方向性や組織のあり方	78.5	75.5	91.4	74.8	73.8	76.7	75.9	66.2	75.4	81.0	76.0	73.5	81.1	92.1	96.9	83.1	86.7	93.5	80.8	95.4	97.7	77.5	97.5	100.0
	16.校内研修のあり方や進め方	73.6	75.1	85.1	65.1	60.7	70.6	55.2	51.6	56.1	69.5	61.7	54.4	73.1	89.5	96.2	68.7	83.8	94.6	75.4	88.5	90.8	60.0	92.5	97.5
学校の管理運営	17.学校の危機管理に関する研修	83.9	80.4	89.4	80.6	78.6	83.7	78.1	70.7	82.5	87.8	84.6	72.1	96.1	97.9	99.2	95.7	96.8	98.2	93.1	98.5	98.5	95.0	97.5	100.0
	18.保護者や地域との関わり方	88.2	82.5	89.9	87.0	83.2	83.7	86.4	73.2	86.0	94.2	89.8	82.4	99.5	96.7	97.4	95.7	96.0	94.6	96.9	97.7	95.4	100.0	100.0	100.0
	19.メンタルヘルスに関する研修	75.3	69.8	78.6	78.6	68.0	65.9	75.9	67.9	77.2	79.9	74.9	63.2	98.2	97.2	95.9	96.4	93.9	91.0	96.9	98.5	92.3	100.0	97.5	100.0
研修形態・方法	協議したり発表しあったりすることで、課題や成果を共有する	92.1	88.6	94.7	95.4	88.5	91.9	86.4	87.5	78.9	89.3	91.4	82.4	94.7	98.2	98.2	94.6	96.8	95.3	97.7	99.2	97.7	100.0	100.0	95.0
	主体的に計画を立て、授業研究を行ったり研修会等に参加したりする	85.5	92.8	96.7	88.8	83.2	83.5	82.4	82.9	73.7	91.1	89.1	88.2	88.8	97.9	96.9	88.1	97.1	96.0	95.4	99.2	95.4	87.5	97.5	97.5
	校内等の部会やグループで、授業研究等を行う	93.0	93.4	98.1	90.2	83.6	86.0	79.8	76.3	71.9	88.3	88.6	88.1	98.7	98.8	96.9	99.3	97.8	95.3	98.5	98.5	96.2	100.0	100.0	95.0
	他校や異校種での体験、社会奉仕活動、自然体験	79.2	76.8	85.2	80.3	72.3	77.9	73.0	66.9	77.2	89.0	84.5	77.9	89.3	90.6	82.8	87.0	91.7	85.9	96.2	94.6	83.8	95.0	95.0	80.0
	講義や講話を受ける	93.8	93.8	97.6	92.8	94.4	91.9	89.1	86.4	89.5	97.2	95.4	97.1	93.4	96.5	96.4	90.3	95.3	94.9	92.3	96.2	95.4	90.0	97.5	97.5

90%以上 80%以上90%未満 60%以上80%未満 ※数値は割合(%)

※「とても必要」＋「必要」（内容），「とても有効」＋「有効」（方法）の割合

表 2 研修内容の必要性，研修方法の有効性（ステージ別，校種別，対象別）の平均値

質 問 項 目		ステージ別								学校種別											
		研修生平均				管理職平均				研修生平均				管理職平均							
		ステージ1	ステージ2	ステージ3	全体	ステージ1	ステージ2	ステージ3	全体	小	中	高	特	小	中	高	特	全体			
教員の資質	1.幅広い教養や豊かな人間性を身につける	93.7	89.4	89.9	91.0	97.3	96.0	87.4	93.5	95.0	92.9	85.6	90.5	91.0	96.2	95.4	89.2	93.3	93.5		
	2.教員としての姿勢や心構え，使命や責任について	85.2	81.1	83.3	83.2	99.8	99.8	98.1	88.5	95.4	87.2	85.6	76.3	83.6	83.2	96.2	94.8	94.9	95.8	95.4	
	3.国や県の実施策，教育法規	75.8	77.8	85.0	79.5	89.2	96.8	98.5	94.8	82.7	76.6	72.8	85.9	79.5	95.8	92.4	96.2	95.0	94.8	94.8	
	4.今日的課題に対応する	96.1	95.8	97.3	96.4	95.0	99.5	99.7	98.1	97.1	96.6	94.6	97.3	96.4	98.1	98.1	97.7	98.3	98.1	98.1	
職務遂行・実践的	5.教科に関する研修	96.6	92.7	90.0	93.1	99.9	99.8	90.3	96.6	97.8	97.5	92.1	85.0	93.1	96.9	97.6	96.2	95.8	96.6	96.6	
	6.道徳，特別活動，総合的な学習の時間	94.4	89.4	85.9	89.9	99.3	98.8	89.3	95.8	97.1	96.2	78.6	87.8	89.9	96.6	96.7	94.1	95.8	95.8	95.8	
	7.クラブ活動や部活動	66.9	53.8	49.9	56.9	76.8	67.0	51.7	65.2	54.7	67.7	63.6	41.4	56.9	58.3	74.4	72.1	55.8	65.2	65.2	
	8.学級経営や学年経営	96.3	89.5	88.7	91.5	98.3	98.5	95.1	97.3	96.1	93.1	87.8	89.1	91.5	98.5	97.4	97.4	95.8	97.3	97.3	
指導力の向上	9.生徒指導に関する研修	97.2	92.4	93.4	94.4	99.5	98.7	96.0	98.0	96.3	95.1	90.6	95.4	94.4	99.0	97.1	97.7	98.3	98.0	98.0	
	10.児童生徒理解	96.4	92.8	92.9	94.0	100.0	98.2	94.6	97.6	96.3	94.1	89.0	96.8	94.0	98.7	98.2	97.7	95.8	97.6	97.6	
	11.特別支援教育	95.3	91.9	93.1	93.4	99.1	99.3	97.5	98.7	97.7	93.1	85.9	97.1	93.4	99.6	98.0	98.7	98.3	98.7	98.7	
	12.児童生徒と教師，児童生徒同士の人間関係づくりや集団づくり	94.4	88.7	89.9	91.0	99.7	98.1	89.5	95.8	94.5	93.2	85.2	91.0	91.0	97.1	96.0	93.3	96.7	95.8	95.8	
学校の管理運営	13.思いやりの心や，豊かな人間性を育む	94.9	91.8	93.4	93.3	99.6	98.5	93.1	97.1	99.7	99.3	82.4	92.0	93.3	98.1	96.5	96.2	97.5	97.1	97.1	
	14.児童生徒の健康や安全に関する研修	89.1	84.3	80.4	84.6	99.2	97.6	91.9	96.2	88.7	82.7	78.0	88.9	84.6	97.2	95.1	95.1	97.5	96.2	96.2	
	15.学校全体の教育の方向性や組織のあり方	77.5	72.9	79.3	76.6	80.6	92.9	97.0	90.2	81.8	75.1	72.5	76.8	76.6	90.0	87.8	91.3	91.7	90.2	90.2	
	16.校内研修のあり方や進め方	65.8	62.3	66.6	64.9	69.3	88.6	94.8	84.2	77.9	65.5	54.3	61.9	64.9	86.3	82.4	84.9	83.3	84.2	84.2	
研修形態・方法	17.学校の危機管理に関する研修	82.6	78.6	81.9	81.0	95.0	97.7	99.0	97.2	84.6	81.0	77.1	81.5	81.0	97.7	96.9	96.7	97.5	97.2	97.2	
	18.保護者や地域との関わり方	89.0	82.2	85.5	85.5	98.0	98.1	96.8	97.7	86.9	84.6	81.8	88.8	85.5	98.5	95.4	96.7	100.0	97.7	97.7	
	19.メンタルヘルスに関する研修	77.4	70.2	71.2	72.9	97.9	96.8	94.8	96.5	74.6	70.8	73.7	72.7	72.9	97.1	93.8	95.9	99.2	96.5	96.5	
	平均	87.6	83.0	84.1	84.9	94.4	95.7	91.9	94.0	88.8	86.4	80.1	84.4	84.9	94.5	93.9	93.8	93.8	94.0	94.0	
研修形態・方法	協議したり発表しあったりすることで，課題や成果を共有する	90.8	89.0	87.0	88.9	96.7	98.6	96.5	97.3	91.8	91.9	84.3	87.7	88.9	97.0	95.6	98.2	98.3	97.3	97.3	
	主体的に計画を立て，授業研究を行ったり研修会等に参加したりする	86.9	87.0	85.5	86.5	89.9	97.9	96.4	94.8	91.7	85.2	79.7	89.5	86.5	94.5	93.7	96.7	94.2	94.8	94.8	
	校内等の部会やグループで，授業研究等を行う	87.8	85.5	86.0	86.4	99.1	98.8	95.8	97.9	94.8	86.6	76.0	88.3	86.4	98.1	97.5	97.7	98.3	97.9	97.9	
	他校や異校種での体験，社会奉仕活動，自然体験	80.4	75.1	79.6	78.4	91.9	93.0	83.1	89.3	80.4	76.8	72.4	83.8	78.4	87.6	88.2	91.5	90.0	89.3	89.3	
研修形態・方法	講義や講話を受ける	93.2	92.5	94.0	93.3	91.5	96.4	96.0	94.6	95.1	93.0	88.3	96.6	93.3	95.4	93.5	94.6	95.0	94.6	94.6	
	平均	87.8	85.8	86.4	86.7	93.8	96.9	93.6	94.8	90.8	86.7	80.1	89.2	86.7	94.5	93.7	95.7	95.2	94.6	94.6	

イ ステージの違いによって見える特徴

- 各ステージにおいて「とても必要」＋「必要」の割合が特に高い項目
(研修生)

	【ステージ１】		【ステージ２】		【ステージ３】	
①	生徒指導	97.2%	今日的教育課題に対応する	95.8%	今日的教育課題に対応する	97.3%
②	教科	96.6%	児童生徒理解	92.8%	生徒指導	93.4%
③	児童生徒理解	96.4%	教科	92.7%	思いやりの心や、人間性を育む	

- ステージ２においては、小・中・高は他のステージに比べて全体的に必要な性の割合が低くなる。ステージ２に関しては、経験年数を重ねることにより、校内外の分掌や役割が増え、多忙感が増す時期であるとともに、初任の頃の新鮮な感覚から慣れの感覚に変化する時期でもあると考えられる。(表１，２)

ウ 学校種の違いによって見える特徴

- 各学校種において「とても必要」＋「必要」の割合が特に高い項目

【小学校】

①	思いやりの心や豊かな人間性を育む	99.7%
②	教科	97.8%
③	特別支援教育	97.7%

【中学校】

(研修生)

①	思いやりの心や豊かな人間性を育む	99.3%
②	教科	97.5%
③	今日的教育課題に対応する	96.6%

【高等学校】

①	今日的教育課題に対応する	94.6%
②	教科	92.1%
③	生徒指導	90.6%

【特別支援学校】

①	今日的教育課題に対応する	97.3%
②	特別支援教育	97.1%
②	児童生徒理解	96.8%

- 「とても必要」＋「必要」の割合が小，中，特，高の順で下がる傾向にある。また，高等学校は，「とても必要」が50%に達している項目は「教科」のみである（小学校６項目，中学校４項目，特別支援学校３項目）。高等学校は，各学校の地域や生徒の実態により特色がある。そのため，一斉・同質の研修よりも自校の実態に即した研修を求めていると考えられる。(表１，２，３，４)

- 特別支援学校は，「国や県の教育施策，教育法規」「今日的教育課題に対応する」「児童生徒理解」「特別支援教育」「児童生徒の健康や安全に関する研修」「保護者や地域との関わり方」「メンタルヘルス」に関して，小・中・高と比べ，「とても必要」の割合が高く，逆に「教科」「クラブ活動や部活動」「学級経営や学年経営」は，最も低く，児童生徒・学校の実態を意識した回答となっている。(表３，４)

表3 研修内容の必要性，研修方法の有効性（ステージ別，校種別，対象別）

質 問 項 目		研 修 生 対 象												管 理 職 対 象											
		小学校			中学校			高等学校			特別支援学校			小学校			中学校			高等学校			特別支援学校		
		ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3
教員の 資 質	1.幅広い教養や豊かな人間性を身につける	44.9	38.8	35.8	43.1	36.6	44.2	35.1	27.5	38.6	35.3	32.6	36.2	68.3	51.7	45.3	73.7	50.0	43.0	81.5	50.8	39.2	70.0	42.5	35.0
	2.教員としての姿勢や心構え、使命や責任について	31.4	25.0	25.5	29.9	27.3	43.7	23.8	20.3	26.3	28.0	19.7	39.1	93.1	57.3	42.7	89.9	56.8	38.6	97.7	61.5	47.7	90.0	55.0	47.5
	3.国や県の教育施策、教育法規	15.1	18.3	19.4	11.9	15.3	14.9	14.8	12.7	10.5	16.5	18.6	36.2	35.4	36.5	64.0	39.0	31.4	52.5	56.2	55.4	68.5	37.5	45.0	65.0
	4.今日的教育課題に対応する	48.9	49.9	51.9	52.1	42.5	47.7	44.5	32.9	52.6	51.7	50.0	63.8	59.4	64.7	73.0	60.4	64.4	69.3	70.8	70.8	76.9	50.0	47.5	75.0
職務 遂行・ 実践的	5.教科に関する研修	72.4	65.3	56.7	70.3	61.2	68.6	58.3	50.2	48.2	48.5	29.6	30.4	88.3	70.7	47.4	93.2	73.0	49.5	93.8	67.7	47.7	67.5	52.5	30.0
	6.道徳、特別活動、総合的な学習の時間	61.9	51.4	49.8	66.7	47.1	57.5	28.7	18.6	21.1	43.1	24.2	27.5	83.7	64.6	45.0	82.3	66.8	44.0	74.6	52.3	34.6	57.5	42.5	32.5
	7.クラブ活動や部活動	17.2	10.1	7.1	27.1	20.3	20.7	26.7	22.4	15.8	9.9	5.1	4.3	24.0	13.0	5.9	45.3	20.1	8.3	49.2	23.8	14.6	20.0	2.5	5.0
	8.学級経営や学年経営	65.0	55.3	47.2	68.9	52.7	49.4	47.9	29.3	29.8	43.5	24.2	29.0	89.0	69.9	60.0	85.6	71.6	55.6	85.4	71.5	60.0	47.5	65.0	60.0
指導 力の 向上	9.生徒指導に関する研修	61.4	47.0	40.9	67.1	54.0	50.0	44.4	30.0	50.9	47.9	36.0	50.0	76.1	76.1	65.1	76.3	76.3	60.6	87.7	66.9	51.5	77.5	80.0	57.5
	10.児童生徒理解	59.9	50.4	51.2	55.1	40.7	45.3	39.1	26.1	47.4	59.6	48.9	58.8	93.3	74.4	57.6	90.6	70.9	52.7	90.8	68.5	55.4	90.0	75.0	50.0
	11.特別支援教育	63.3	56.1	57.9	49.1	37.9	43.0	38.1	22.4	29.8	64.0	55.4	60.3	83.1	77.6	71.5	71.9	68.0	61.0	70.8	57.7	50.8	87.5	77.5	72.5
	12.児童生徒と教師、児童生徒同士の人間関係づくりや集団づくり	55.8	46.2	41.1	48.7	35.6	32.6	32.4	22.5	35.1	52.5	41.1	27.9	89.3	63.3	43.7	84.5	63.7	39.7	83.1	48.5	31.5	80.0	65.0	40.0
学校 の 管理・ 運営	13.思いやりの心や、豊かな人間性を育む	54.1	47.7	41.8	47.8	38.7	35.5	27.9	19.6	28.1	44.8	28.2	28.4	77.0	61.9	48.3	72.7	58.3	41.9	68.5	45.4	33.8	72.5	55.0	42.5
	14.児童生徒の健康や安全に関する研修	31.1	19.5	22.7	23.1	17.0	18.6	25.4	15.0	14.0	41.0	25.7	20.6	67.3	49.4	40.0	63.3	43.9	37.2	67.7	48.5	39.2	82.5	52.5	42.5
	15.学校全体の教育の方向性や組織のあり方	18.7	18.9	24.3	18.3	17.4	26.7	18.3	16.7	15.8	18.7	16.0	20.6	25.0	31.2	69.6	30.6	31.3	63.2	36.2	43.8	76.2	25.0	42.5	75.0
	16.校内研修のあり方や進め方	16.8	19.9	26.4	11.7	10.7	16.5	12.6	8.7	8.8	14.9	6.3	13.2	20.9	34.6	66.7	22.3	22.3	54.9	31.5	36.9	56.9	17.5	27.5	67.5
研修 形態・ 方法	17.学校の危機管理に関する研修	21.5	18.9	30.3	19.6	17.2	24.4	20.1	13.9	26.3	25.8	17.7	23.5	55.5	57.2	78.3	60.1	60.4	77.6	55.4	57.7	80.0	60.0	62.5	80.0
	18.保護者や地域との関わり方	30.5	23.7	28.8	28.9	23.7	29.1	24.4	17.4	24.6	40.4	31.3	36.8	62.4	54.7	55.2	56.1	52.5	60.6	63.1	60.8	66.2	62.5	60.0	65.0
	19.メンタルヘルスに関する研修	27.1	16.7	19.0	24.5	18.8	22.4	21.4	19.5	22.8	25.5	21.7	19.1	60.1	42.3	50.2	57.9	42.8	48.0	60.0	49.2	53.8	62.5	60.0	60.0
研修 形態・ 方法	協議したり発表しあったりすることで、課題や成果を共有する	38.5	35.4	46.4	42.9	39.5	55.8	32.2	34.8	29.8	33.1	42.9	26.5	63.5	61.9	62.3	66.2	59.0	57.4	79.2	69.2	60.8	77.5	70.0	67.5
	主体的に計画を立て、授業研究を行ったり 研修会等に参加したりする	27.2	32.7	38.8	26.0	24.0	30.6	19.6	22.0	21.1	31.0	22.9	39.7	24.2	60.0	66.4	46.8	55.0	54.9	62.3	65.4	60.0	42.5	47.5	62.5
	校内等の部会やグループで、授業研究等を行う	35.4	36.7	42.1	27.8	19.1	19.8	21.9	16.4	17.5	30.1	24.0	31.3	72.7	64.9	54.0	69.9	58.3	49.1	66.2	61.5	51.5	60.0	60.0	57.5
	他校や異校種での体験、 社会奉仕活動、自然体験	24.9	18.6	20.6	27.8	20.5	26.7	20.7	19.2	22.8	33.3	21.8	27.9	45.0	34.5	26.3	43.3	36.5	29.7	63.8	47.7	33.1	60.0	47.5	40.0
	講義や講話を受ける	27.1	39.6	36.1	45.1	36.2	45.3	36.1	26.1	36.8	45.9	38.5	42.6	43.7	41.2	46.6	41.7	35.3	40.1	44.6	40.0	43.8	35.0	35.0	42.5

75%以上 50%以上75%未満 40%以上50%未満 ※数値は割合(%)

※「とても必要」(内容)、「とても有効」の割合

表4 研修内容の必要性，研修方法の有効性（ステージ別，校種別，対象別）の平均値

質 問 項 目		ステージ別								学校種別											
		研修生平均				管理職平均				研修生平均						管理職平均					
		ステージ1	ステージ2	ステージ3	全体	ステージ1	ステージ2	ステージ3	全体	小	中	高	特	全体	小	中	高	特	全体		
教員の資質	1.幅広い教養や豊かな人間性を身につける	39.6	33.9	38.7	37.4	73.4	48.7	40.6	54.3	39.8	41.3	33.7	34.7	37.4	55.1	55.6	57.2	49.2	54.3		
	2.教員としての姿勢や心構え、使命や責任について	28.3	23.1	33.7	28.3	92.7	57.7	44.1	64.8	27.3	33.6	23.5	28.9	28.3	64.4	61.8	69.0	64.2	64.8		
	3.国や県の実施策、教育法規	14.6	16.2	20.3	17.0	42.0	42.1	62.5	48.9	17.6	14.0	12.6	23.8	17.0	45.3	41.0	60.0	49.2	48.9		
	4.今日的課題に対応する	49.3	43.8	54.0	49.0	60.1	61.8	73.6	65.2	50.2	47.4	43.3	55.1	49.0	65.7	64.7	72.8	57.5	65.2		
職務遂行・実践的	5.教科に関する研修	62.4	51.6	51.0	55.0	85.7	66.0	43.6	65.1	64.8	66.7	52.2	36.2	55.0	68.8	71.9	69.7	50.0	65.1		
	6.道徳、特別活動、総合的な学習の時間	50.1	35.3	39.0	41.5	74.5	56.6	39.0	56.7	54.4	57.1	22.8	31.6	41.5	64.4	64.4	53.8	44.2	56.7		
	7.クラブ活動や部活動	20.2	14.5	12.0	15.6	34.6	14.9	8.5	19.3	11.5	22.7	21.6	6.4	15.6	14.3	24.6	29.2	9.2	19.3		
	8.学級経営や学年経営	56.3	40.4	38.9	45.2	76.9	69.5	58.9	68.4	55.8	57.0	35.7	32.2	45.2	73.0	70.9	72.3	57.5	68.4		
指導力の向上	9.生徒指導に関する研修	55.2	41.7	47.9	48.3	79.4	74.8	58.7	71.0	49.8	57.0	41.7	44.6	48.3	72.4	71.1	68.7	71.7	71.0		
	10.児童生徒理解	53.4	41.5	50.7	48.5	91.2	72.2	53.9	72.4	53.8	47.0	37.5	55.8	48.5	75.1	71.4	71.5	71.7	72.4		
	11.特別支援教育	53.6	43.0	47.8	48.1	78.3	70.2	63.9	70.8	59.1	43.3	30.1	59.9	48.1	77.4	67.0	59.7	79.2	70.8		
	12.児童生徒と教師、児童生徒同士の人間関係づくりや集団づくり	47.3	36.4	34.2	39.3	84.2	60.1	38.7	61.0	47.7	39.0	30.0	40.5	39.3	65.4	62.6	54.4	61.7	61.0		
学校の管理運営	13.思いやりの心や、豊かな人間性を育む	43.7	33.5	33.4	36.9	72.7	55.1	41.6	56.5	47.9	40.7	25.2	33.8	36.9	62.4	57.6	49.2	56.7	56.5		
	14.児童生徒の健康や安全に関する研修	30.1	19.3	19.0	22.8	70.2	48.6	39.7	52.8	24.4	19.6	18.1	29.1	22.8	52.2	48.1	51.8	59.2	52.8		
	15.学校全体の教育の方向性や組織のあり方	18.5	17.3	21.8	19.2	29.2	37.2	71.0	45.8	20.6	20.8	17.0	18.4	19.2	41.9	41.7	52.1	47.5	45.8		
	16.校内研修のあり方や進め方	14.0	11.4	16.2	13.9	23.1	30.3	61.5	38.3	21.0	13.0	10.0	11.5	13.9	40.7	33.2	41.8	37.5	38.3		
研修形態・方法	17.学校の危機管理に関する研修	21.8	16.9	26.1	21.6	57.7	59.4	79.0	65.4	23.6	20.4	20.1	22.4	21.6	63.7	66.0	64.4	67.5	65.4		
	18.保護者や地域との関わり方	31.1	24.0	29.8	28.3	61.0	57.0	61.7	59.9	27.7	27.2	22.1	36.1	28.3	57.4	56.4	63.3	62.5	59.9		
	19.メンタルヘルスに関する研修	24.6	19.2	20.8	21.5	60.1	48.6	53.0	53.9	20.9	21.9	21.2	22.1	21.5	50.9	49.6	54.4	60.8	53.9		
	平均	37.6	29.6	33.4	33.5	65.6	54.3	52.3	57.4	37.8	36.3	27.3	32.8	33.5	58.5	56.8	58.7	55.6	57.4		
研修形態・方法	協議したり発表しあったりすることで、課題や成果を共有する	36.7	38.2	39.6	38.1	71.6	65.0	62.0	66.2	40.1	46.1	32.3	34.2	38.1	62.6	60.9	69.7	71.7	66.2		
	主体的に計画を立て、授業研究を行ったり研修会等に参加したりする	26.0	25.4	32.5	28.0	44.0	57.0	61.0	54.0	32.9	26.9	20.9	31.2	28.0	50.2	52.2	62.6	50.8	54.0		
	校内等の部会やグループで、授業研究等を行う	28.8	24.0	27.7	26.8	67.2	61.2	53.0	60.5	38.1	22.2	18.6	28.5	26.8	63.9	59.1	59.7	59.2	60.5		
	他校や異校種での体験、社会奉仕活動、自然体験	26.7	20.0	24.5	23.7	53.0	41.5	32.3	42.3	21.4	25.0	20.9	27.7	23.7	35.3	36.5	48.2	49.2	42.3		
	講義や講話を受ける	38.5	35.1	40.2	38.0	41.3	37.9	43.3	40.8	34.3	42.2	33.0	42.3	38.0	43.8	39.0	42.8	37.5	40.8		

※「とても必要」(内容)、「とても有効」の割合

- 小学校は、「児童生徒と教師，児童生徒同士の人間関係づくりや集団づくり」「思いやりの心や，豊かな人間性を育む」「校内研修の在り方進め方」「学校の危機管理」に関して，中・高・特と比べ，「とても必要」の割合が高く，逆に「メンタルヘルス」は，最も低い。「校内研修の在り方進め方」が高いのは，校内研修への意識が醸成されている中，新たな校内研修方法や内容を求めていることが考えられる。また，「学校の危機管理」は，低年齢の子どもを教育する立場として，安心・安全な学校づくりへの意識が高いことが考えられる。（表 3， 4）
- 中学校は，「幅広い教養や豊かな人間性を身につける」「教員としての姿勢や心構え，使命や責任について」「教科」「道徳，特別活動，総合的な学習の時間」「クラブ活動や部活動」「学級経営や学年経営」「生徒指導」「学校全体の教育の方向性や組織のあり方」に関して，小・高・特と比べ，「とても必要」の割合が高く，他の校種に比べ項目数が多いのは，課題が多種多様で，解決の必要性を感じているのではないかと考えられる。（表 3， 4）
- 高等学校は，19項目のうち，「幅広い教養や豊かな人間性を身につける」「教員としての姿勢や心構え，使命や責任について」「国や県の教育施策，教育法規」「今日的教育課題に対応する」「道徳，特別活動，総合的な学習の時間」「生徒指導」「児童生徒理解」「特別支援教育」「児童生徒と教師，児童生徒同士の人間関係づくりや集団づくり」「思いやりの心や，豊かな人間性を育む」「児童生徒の健康や安全」「学校全体の教育の方向性や組織のあり方」「学校の危機管理」「保護者や地域との関わり方」の14項目に関して，小・中・特と比べ，「とても必要」の割合が低い。一斉・同質の研修よりも教科・科目の専門性に関する研修を求めていると考えられる。（表 3， 4）
- 「とても必要」＋「必要」と回答した割合が，校種によって20ポイント以上の差が表れた項目が，ふたつある。ひとつは「クラブ活動や部活動」（中学校67.7%，特別支援学校41.4% 差26.3ポイント）である。これは，学校種の実態の差がでていると考えられる。もうひとつは，「校内研修のあり方や進め方」（小学校は77.9%，高等学校は54.3% 差23.6ポイント）である。これは，教職員の「校内研修」の捉え方の差であると考えられる。（表 2）
- 「生徒指導」「児童生徒理解」「児童生徒と教師，児童生徒同士の人間関係づくりや集団づくり」「思いやりの心や，豊かな人間性を育む」に関して，高等学校のステージ3がステージ1，2に比べて「とても必要」の割合が一番高い。これらの項目については，小中ではステージごとに下がる傾向がある。（表 3）

エ その他必要と感じている研修

- 研修生が求めている研修は、多岐に渡っている。
- 「ＩＣＴの活用・情報教育・情報モラル等の研修」「教科指導（実技，指導方法）」「特別支援・医療的ケア」「指導力向上」「効率化・多忙化解消のための研修」などの研修を特に必要だと感じている。

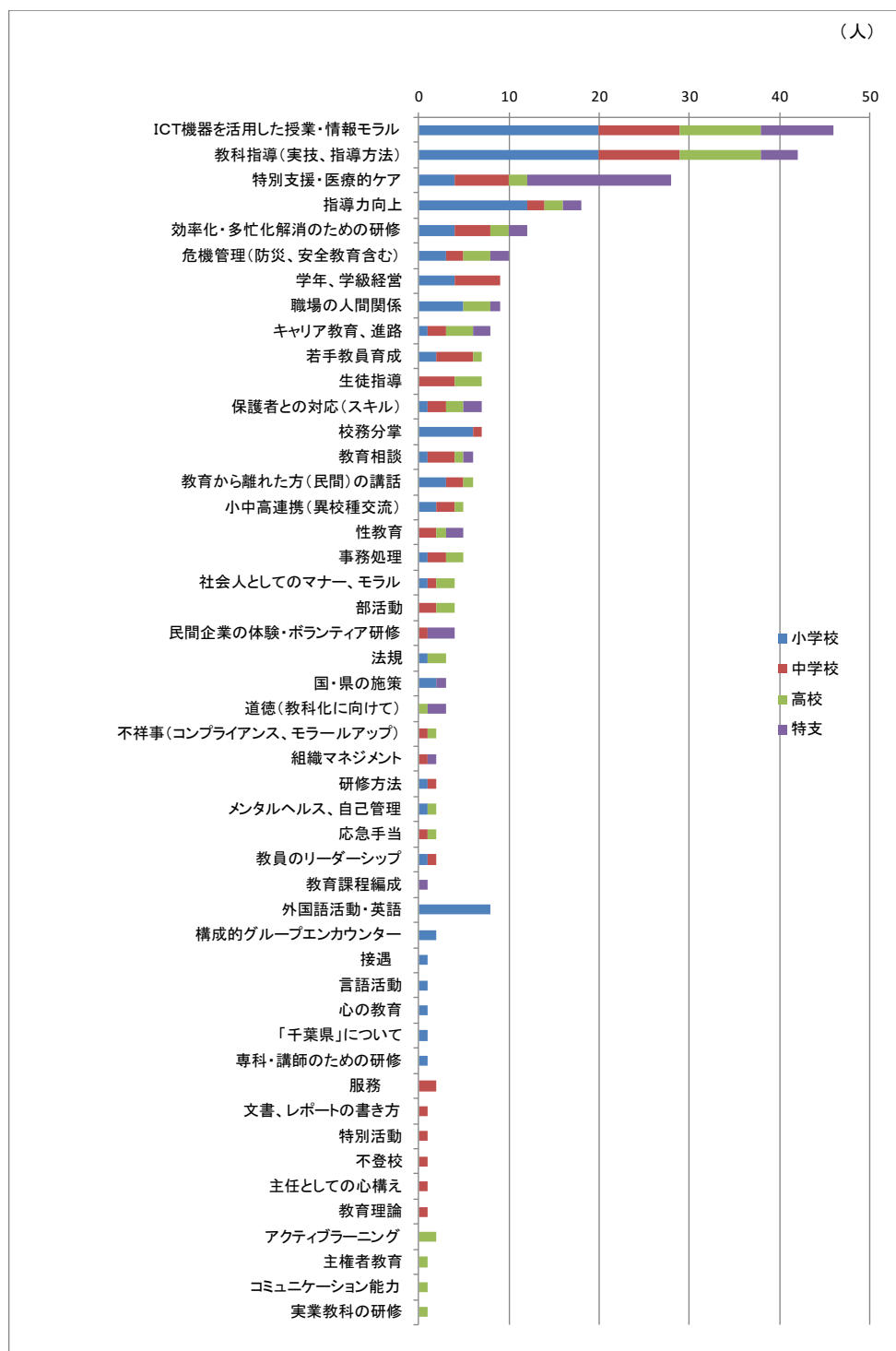


図 1 その他必要と感じている研修（研修生）

※自由記述 複数回答可

- 小学校のみが必要と感じている研修は、「接遇」「外国語活動」「言語活動」「構成的グループエンカウンター」「心の教育」「千葉県について」「専科・講師のための研修」である。特に「外国語活動」「専科・講師のための研究」については、小学校の特徴が表れていると考える。
- 中学校のみが必要と感じている研修は、「服務」「文書、レポートの書き方」「特別活動」「不登校」「主任としての心構え」「教育理論」である。特に「不登校」については、中学校の特徴が表れていると考える。
- 高等学校のみが必要と感じている研修は、「アクティブ・ラーニング」「主権者教育」「コミュニケーション能力」「実業教科の研修」である。今日的教育課題に対応した研修や、学校の実態に合った研修を求めていることが考えられる。

【研修方法の有効性】

- 「研修生同士で協議したり発表しあったりすることで、課題や成果を共有する研修」「主体的に計画を立て、授業研究を行ったり研修会等に参加したりする研修」「校内等の部会やグループで、授業研究等を行う研修」「他校や異校種での体験，社会奉仕活動，自然体験による研修」「専門家や有識者，経験者等から講義や講話を受ける研修」のすべてにおいて、高等学校では、「とても有効」＋「有効」の割合が他校種と比べて下回っている。（表 2）
- 「専門家や有識者，経験者等から講義や講話を受ける」研修については、どの校種，どのステージの研修生も，他の研修方法に関する項目と比べると「とても有効」＋「有効」の割合が高い。これは，専門性の高い内容に対する期待と考えられるが，研修生はまだ研修に対して「受け身的」であるともとらえることができる。（表 2）
- 「他校や異校種での体験，社会奉仕活動，自然体験による研修」については，どの校種，どのステージの研修生も，他の研修方法に関する項目と比べると「とても有効」＋「有効」の割合が低い。これは，研修の成果を実感する機会が少ないためだと考えられる。（表 2）

管理職対象調査

各項目において、「とても必要（有効）」＋「必要（有効）」の割合を平均すると94％で、管理職はほぼすべての研修内容についてその必要性を感じている。そのため、以下の内容については「とても必要」「とても有効」と答えている割合をもとに考察を行った。

【研修内容の必要性】

ア 全体を通して

○ 全校種、ステージを通して「とても必要」の割合が特に高い項目（管理職）

①	児童生徒理解	72.4%
②	生徒指導	71.0%
③	特別支援教育	70.8%

○ 全校種、ステージを通して「とても必要」の割合が特に低い項目（管理職）

①	クラブ活動や部活動	19.3%
②	校内研修のあり方や進め方	38.3%
③	学校全体の教育の方向性や組織のあり方	45.8%

「生徒指導」「児童生徒理解」「特別支援教育」は「とても必要」と答えている割合が70％を超え、特に高い。

○ 「クラブ活動や部活動」は、「とても必要」と答えている割合が最も低い。特に特別支援学校やステージ2，3においては顕著である。

（表3，4）

部活動が教育課程外であること、また研修の効果的な実施が困難であること等が要因と思われる。中、高のステージ1については、「とても必要」と答えている割合が他の校種・ステージよりもはるかに高く、校種での「部活動」の位置付けの違いがよく表れている。（表3）

イ ステージの違いによって見える特徴

○ 各ステージにおいて「とても必要」の割合が特に高い項目（管理職）

	【ステージ1】		【ステージ2】		【ステージ3】	
①	教員としての姿勢や心構え、使命や責任について	92.7%	生徒指導	74.8%	学校の危機管理	79.0%
②	児童生徒理解	91.2%	児童生徒理解	72.2%	今日的教育課題	73.6%
③	教科	85.7%	特別支援教育	70.2%	学校全体の教育の方向性や組織のあり方	71.0%

各ステージにおける教員としての立場や分掌に応じて必要とされる資質能力が明確に表れている。

- 「幅広い教養や豊かな人間性を身につける」「教員としての心構え、使命や責任について」「児童生徒と教師，児童生徒同士の間関係づくりや集団づくり」を始め，半数以上の項目でステージ1において，他のステージよりも「とても必要」と答えている割合が高く，またステージが進むにつれて低くなる傾向にある。（表3，4）

これらの項目については，教員の基盤として必要な資質能力に関する研修内容として管理職がとらえていると思われる。

- 「国や県の教育施策，教育法規」「学校全体の教育の方向性や組織のあり方」「校内研修のあり方や進め方」等ではステージ3において，「とても必要」と答えている割合が大きく上がる。（表3，4）

これらの項目については，ある程度の経験年数を経たことによって求められる資質能力に関する研修内容であることがわかる。

ウ 学校種の違いによって見える特徴

- 各校種における，「とても必要」の割合が特に高い項目（管理職）

【小学校】

①	特別支援教育	77.4%
②	児童生徒理解	75.1%
③	学級経営や学年経営	73.0%

【中学校】

①	教科	71.9%
②	児童生徒理解	71.4%
③	生徒指導	71.1%

【高等学校】

①	今日的教育課題に対応する	72.8%
②	学級経営や学年経営	72.3%
③	児童生徒理解	71.5%

【特別支援学校】

①	特別支援教育	79.2%
②	生徒指導	71.7%
③	児童生徒理解	71.7%

どの校種においても，当然必要とされる「児童生徒理解」は共通して上位に入っており，その他の項目については，それぞれに学校種の特性がよく表れている。特に小学校では，発達障害等，特別な支援を必要とする児童への対応，また高等学校では，大学の入試改革や新たな指導体制の強化など，今日的教育課題への対応に関する意識が高いと思われる。

（表4）

- 質問項目のうち「とても必要」の割合は，教員の資質に関する内容では高等学校が最も高い。職務遂行に必要な実践的な内容では中学校が最も高い。指導力の向上に関わる内容では小学校が最も高い。学校の管理・運営に関する内容では，高等学校，特別支援学校が高い。（表3，4）

エ その他必要と感じている研修

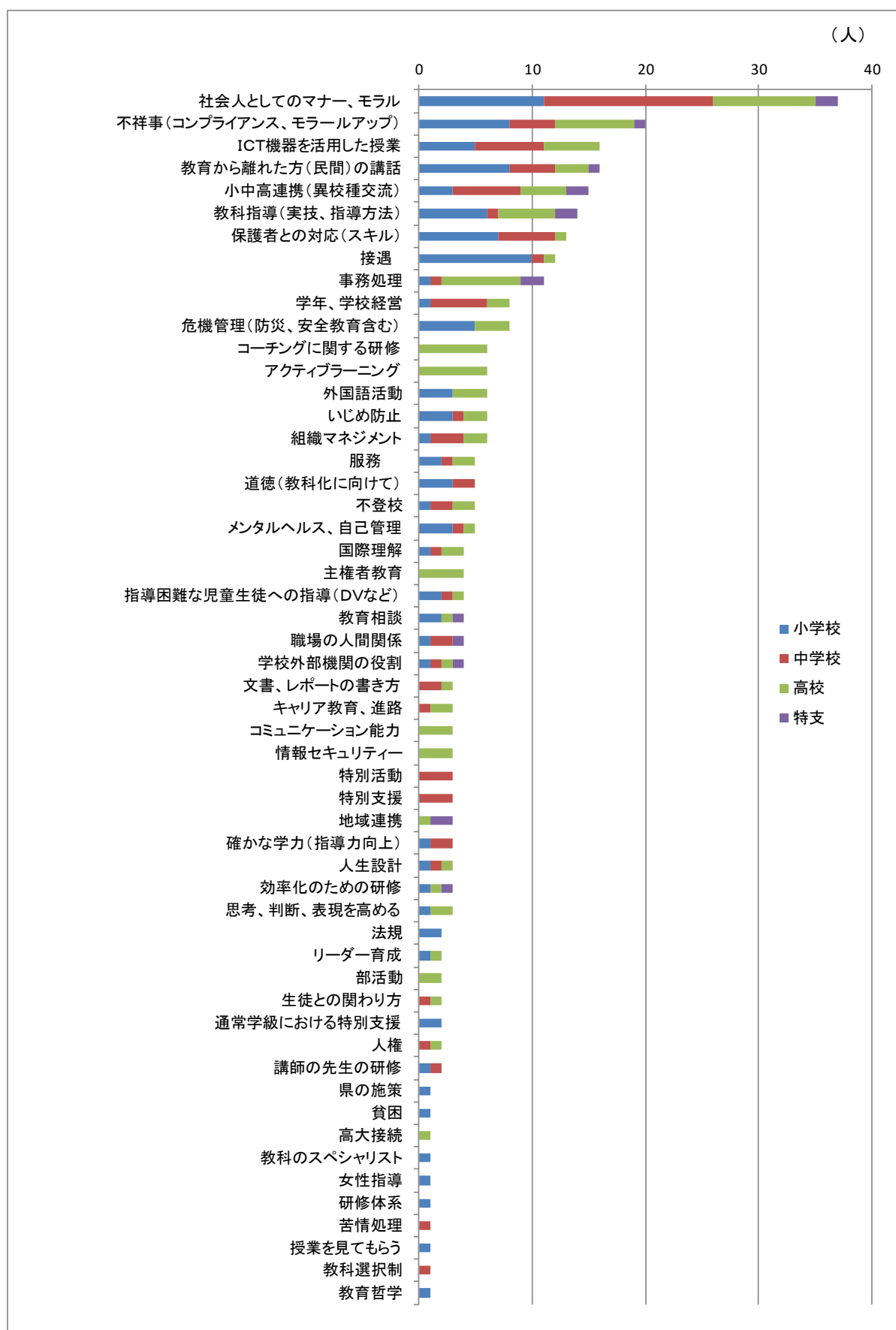


図2 その他必要と感じている研修(管理職)

※自由記述 複数回答可

○ 50項目以上が挙げられており、管理職が教員に求めている知識や資質能力の向上は多種多様である。

○ 回答が多かったものは「社会人としてのマナー，モラル」「接遇」「不祥事（コンプライアンス，モラルアップ）」「ICTを活用した授業」「小中高連携（異校種交流）」「教科指導」「保護者との対応」「教育から離れた方（民間）の講話」「事務処理」である。中でも「社会人としてのマナー，モラル」を答えている数が突出して多い。

これについてはライフステージ研修で行われているところではあるが、自校の実態からさらに必要性を感じているものと考えられる。

【研修方法の有効性】

○ 5つの項目のうち、「とても有効」と答えている割合が高いものは、「協議したり発表し合ったりすることで、課題や成果を共有する」（66.2%）と「校内等の部会やグループで、授業研究等を行う」（60.5%）であり、これらはステージ1で最も高く、その後減少していく。（表4）

これらの研修方法・形態は「主体性」「協働性」といった教員の資質能力を育てていく上で重要ととらえ、その向上を求めていることが推察される。「専門家や有識者，経験者等から講義・講話を受ける」で、「とても有効」と答えている割合が最も低いことからわかる。

○ 「とても有効」と答えている割合が、「他校や異校種での体験，社会奉仕活動，自然体験」については，高等学校，特別支援学校で多い。「主体的に計画を立て，授業研究を行ったり研修会等に参加したりする」については，高等学校に多い。（表3，4）

いずれの項目も，当該の校種において，管理職はその機会が少ないと感じているのではないかと考えられる。

研修生対象調査と管理職対象調査との比較

【研修内容の必要性】

- ほとんどの項目において、研修生、管理職ともに研修が必要であると
感じているが、管理職の方が研修が必要であると考え割合が高い。

(表 1, 2, 3, 4)

管理職としては、様々な内容について、より研修をしてほしいと考えて
いるものの、研修生の意識はそこまでではないのではないかと。

※「とても必要」 (管理職平均57.4% 研修生平均33.5%)

「とても必要」 + 「必要」 (管理職平均94.0% 研修生平均84.9%)

- 多くの項目、校種、ステージでは管理職の方が必要だと考える割合が
高いが、「幅広い教養や豊かな人間性を身につける」「教員としての姿勢
や心構え、使命や責任について」「今日的教育課題に対応する」「教科」「道
徳、特別活動、総合的な学習の時間」「クラブ活動や部活動」「児童生徒
理解」「児童生徒と教師、児童生徒同士の間関係づくりや集団づくり」
では、研修生の方が「とても必要」だと感じている校種・ステージもあ
る。(表 3, 4)

特にステージ3の研修生に対して見られる傾向である。管理職として
は、ある程度の経験を積んできているので、実践力や指導力の向上に関
する研修はこれまでほど必要ではないと考えているものの、研修生自身
は児童生徒の指導に直接関係する内容なので、さらに研修を深めたいと
いう思いが強いと考えられる。

※ 研修生が管理職を5ポイント以上上回っているもの

「教科」で「とても必要」

小学校ステージ3 (管理職47.4% 研修生56.7%)

中学校ステージ3 (管理職49.5% 研修生68.6%)

「道徳、特別活動、総合的な学習の時間」で「とても必要」

中学校ステージ3 (管理職44.0% 研修生57.5%)

「クラブ活動や部活動」で「とても必要」

中学校ステージ3 (管理職 8.3% 研修生20.7%)

「児童生徒理解」で「とても必要」

特別支援学校ステージ3 (管理職50.0% 研修生58.8%)

- 「教員としての姿勢や心構え、使命や責任について」「教科」など特定
の項目において、管理職調査ではステージ1で「とても必要」の数値が高
く、ステージが上がるにしたがって大きく下がる傾向が見られるが、研修
生調査ではあまり見られない。(表 3)

研修生は、これらの項目に該当する資質能力が、自分ではまだ不十分だ
と感じていると思われる。

- 「学校全体の教育の方向性や組織のあり方」「校内研修のあり方や進め方」「学校の危機管理」等は、管理職調査ではステージ3で「とても必要」の数値が高くなるが、研修生調査ではその傾向はあまり見られない。

(表3, 4)

これらの研修は学校の管理運営に関する研修であり、管理職としては、10年を経験したらそろそろ学校全体のことを考えてもらいたいという考えの表れであろう。しかし、研修生自身にはまだまだその意識は少ないと考えられる。

- 研修生調査では、研修の必要性について学校種による差異が見られるが、管理職調査では、学校種に関わらず同じような傾向を示している。

(表1, 3)

学校種によってそれぞれ特徴はあるものの、これらの項目にある研修は、一様に必要だという管理職の思いが感じられる。

【研修方法の有効性】

- 「とても有効」＋「有効」の割合が最も高い項目は、研修生調査では「専門家や有識者、経験者等から講義や講話を受ける」、管理職調査では「校内等の部会やグループで、授業研究等を行う」となっている。多くの項目で管理職が研修生を10ポイント程度上回っているが、「講義や講話」だけはほぼ同じ割合である。(表2)

やはり、研修生が専門家等の講話から得るものは多いと考えていることがわかる。

(2) 実際の研修内容との比較

研修生、管理職に対して行った研修内容等の必要性の調査を受け、「教職ライフステージ研修」において実際に行われている研修について調べた。

研修生調査においての「とても必要」と回答した割合の高い上位3項目と実際の研修を比較してみた。

研修生が必要と感じている研修は、概ね研修プログラムにも組み込まれ、実施されている。

しかし、「特別支援教育」に関する研修については、特に小学校において「とても必要」とする割合が高くなっており、ステージ3においてはすべての項目の中でトップにあげられている(管理職調査でも第3位)が、実際のステージ3の研修では、「特別支援教育」に関する研修は特に実施していない。(表5)

表5 研修生対象アンケート結果と実際の研修内容の比較

質問項目	研修生対象												実際の研修											
	小学校			中学校			高等学校			特別支援学校			小学校			中学校			高等学校			特別支援学校		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3
教員の資質	1幅広い教養や豊かな人間性を身につける	44.9	38.8	35.8	43.1	36.6	44.2	35.1	27.5	38.6	35.3	32.6	36.2											
	2教員としての姿勢や心構え、使命や責任について	31.4	25.0	25.5	29.9	27.3	43.7	23.8	20.3	26.3	28.0	19.7	39.1											
	3国や県の実情、教育施策、教育法規	15.1	18.3	19.4	11.9	15.3	14.9	14.8	12.7	10.5	16.5	18.6	36.2											
	4今日的課題に対応する	48.9	49.9	51.9	52.1	42.5	47.7	44.5	32.9	52.6	51.7	50.0	63.8											
指導力・実践的	5教科に関する研修	72.4	65.3	56.7	70.3	61.2	68.6	58.3	50.2	48.2	48.5	29.6	30.4											
	6道徳、特別活動、総合的な学習の時間	61.9	51.4	49.8	66.7	47.1	57.5	28.7	18.6	21.1	43.1	24.2	27.5											
	7クラブ活動や部活動	17.2	10.1	7.1	27.1	20.3	20.7	26.7	22.4	15.8	9.9	5.1	4.3											
	8学級経営や学年経営	65.0	55.3	47.2	68.9	52.7	49.4	47.9	29.3	29.8	43.5	24.2	29.0											
指導力の向上	9生徒指導に関する研修	61.4	47.0	40.9	67.1	54.0	50.0	44.4	30.0	50.9	47.9	36.0	50.0											
	10児童生徒理解	59.9	50.4	51.2	55.1	40.7	45.3	39.1	26.1	47.4	59.6	48.9	58.8											
	11特別支援教育	63.3	56.1	57.9	49.1	37.9	43.0	38.1	22.4	29.8	64.0	55.4	60.3											
	12児童生徒と教師、児童生徒同士の人間関係づくりや集団づくり	55.8	46.2	41.1	48.7	35.6	32.6	32.4	22.5	35.1	52.5	41.1	27.9											
学校の管理運営	13思いやりの心や、豊かな人間性を育む	54.1	47.7	41.8	47.8	38.7	35.5	27.9	19.6	28.1	44.8	28.2	28.4											
	14児童生徒の健康や安全に関する研修	31.1	19.5	22.7	23.1	17.0	18.6	25.4	15.0	14.0	41.0	25.7	20.6											
	15学校全体の教育の方向性や組織のあり方	18.7	18.9	24.3	18.3	17.4	26.7	18.3	16.7	15.8	18.7	16.0	20.6											
	16校内研修のあり方や進め方	16.8	19.9	26.4	11.7	10.7	16.5	12.6	8.7	8.8	14.9	6.3	13.2											
	17学校の危機管理に関する研修	21.5	18.9	30.3	19.6	17.2	24.4	20.1	13.9	26.3	25.8	17.7	23.5											
	18保護者や地域との関わり方	30.5	23.7	28.8	28.9	23.7	29.1	24.4	17.4	24.6	40.4	31.3	36.8											
	19メンタルヘルスに関する研修	27.1	16.7	19.0	24.5	18.8	22.4	21.4	19.5	22.8	25.5	21.7	19.1											

第1位
 第2位
 該当する研修が1つ
 該当する研修が2つ
 該当する研修が3つ以上

※数値は割合

※「とても必要」（内容）の割合（％）

（3）教職ライフステージ研修における枠組について（管理職対象調査）

管理職を対象に、教職ライフステージ研修における枠組の見直しについて、どの程度評価できるか、及び法定研修終了後の経験年数に応じた悉皆研修の必要性について調査を実施。（図3，4，5）

※ 「教職ライフステージ研修における枠組の見直し」についての質問項目
（調査票は巻末「資料編」を参照）

○ 次の（1）（2）について、どの程度評価できますか。

[選択肢]「とても評価できる・評価できる・あまり評価できない・評価できない」

（1）それまでの初任者研修をステージ1として、フォローアップ研修Ⅰ・Ⅱとともに複数年で継続的に実施するものとした。

（2）それまでの5年経験者研修をステージ2として、ステップアップ研修とともに複数年で継続的に実施するものとした。

○ その理由（自由記述）

○ 中後期層における悉皆研修の必要性について、どのように思いますか。

[選択肢]「とても必要である・必要である・あまり必要でない・必要でない」

・ 15年程度

・ 20年程度

・ 30年程度

○ その理由（自由記述）

ア 初任者研修を複数年で継続的に実施したことについて
 〈小学校・中学校・高等学校・特別支援学校〉

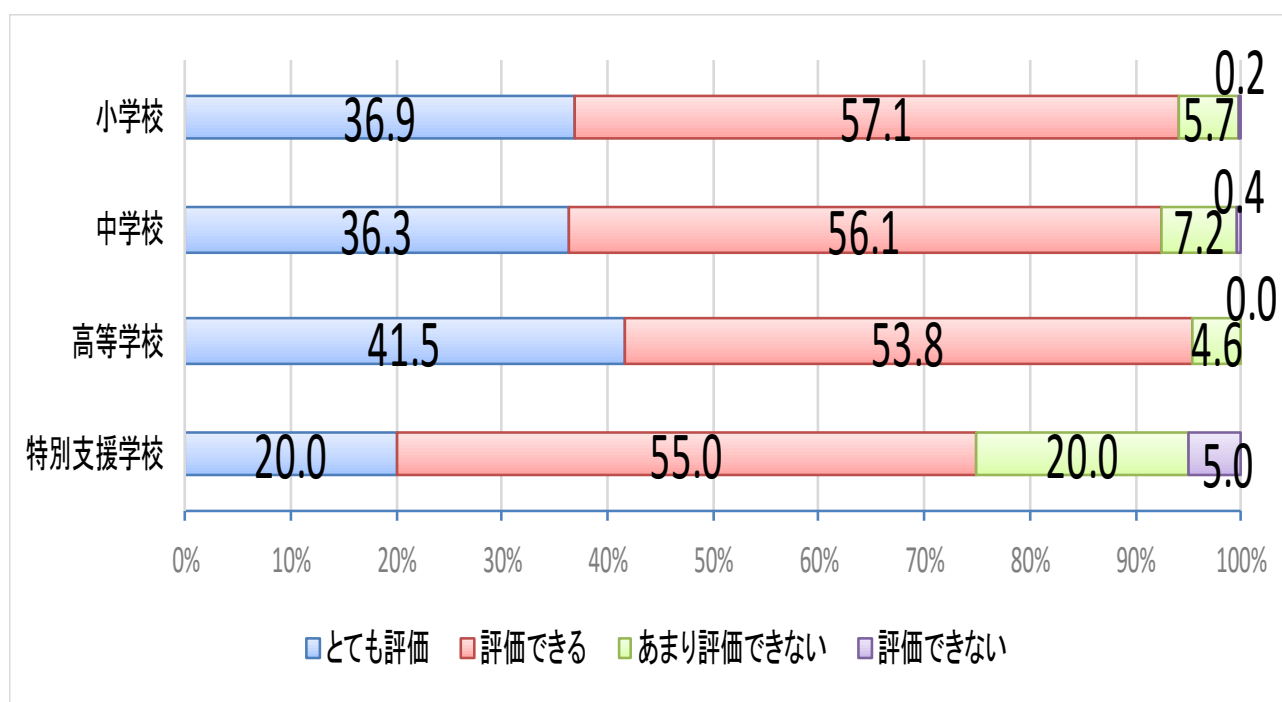


図3 初任者研修を複数年で実施したことについて（管理職）

初任者研修を複数年で実施することについて、どの校種の管理職も肯定的な評価をしている。その中において特別支援学校は、とても評価できると答えている割合は他校種と比べ、やや少ない。（図3）

○ 回答の主な理由は以下のとおりである。

〈肯定的な内容〉

- ・学校、本人ともに負担が軽減される。
- ・意欲や意識の継続性が図れる。
- ・詰め込みが解消される。
- ・長期的ビジョンの研修ができる。
- ・成長の積み重ねができる。
- ・実践や経験に応じた研修ができる。
- ・お互いに情報の共有ができる。
- ・年度ごとに学びの検証ができる。
- ・OJTを通して効果が得られる。
- ・現場での実践や子どもと向き合う時間が増える。
- ・同期の成長をお互いに確認することができる。
- ・初任からの数年間がとても大切な時期であるため。
- ・初任者指導教員の指導がなくなるため。

〈否定的な内容〉

- ・毎年負担である。
- ・学校の業務に集中させたい。

- ・校内の支援体制が厳しく，校務が圧迫される。
- ・授業研究の負担が多い。
- ・出張人数が多いための調整が難しい。子どもの安全面での不安が出る。
(特支)

- ・研修内容が多岐で多い。
- ・自校での研修やO J Tを重視すべき。
- ・多忙感が募るわりに効果が疑問。
- ・フォローアップ研修の形骸化。
- ・現場の負担を考慮してほしい。
- ・複数年に分散することで，職員の意識も分散してしまう。

〈改善の視点に立った内容〉

- ・計画，報告書の事務を簡素化してほしい。
- ・日程や内容の改善。(市町村の研修との兼ね合い等)
- ・産休，育休等への配慮。
- ・小中学校と同じシステムで実施するには無理がある。(高校)
- ・学校や個々の取組に格差が生じている。(高校)
- ・フォローアップは1年でよい。
- ・フォローアップはもう少し減らしたい。
- ・フォローアップを増やしたい。
- ・フォローアップは評価システムを明確にし，組織的に実施させる必要がある。
- ・異校種や社会奉仕活動等は初年度がよい。

イ 5年経験者研修を複数年で継続的に実施したことについて

〈小学校・中学校・高等学校・特別支援学校〉

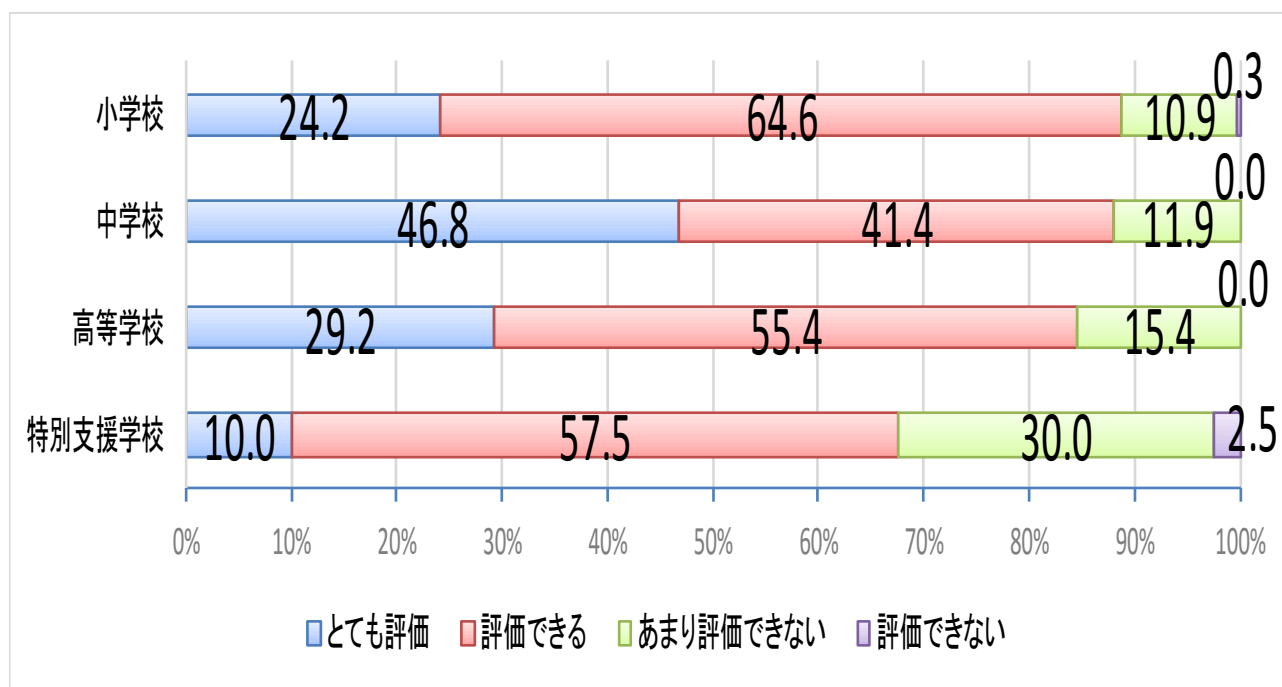


図4 5年経験者研修を複数年で実施したことについて（管理職）

5年経験者研修を複数年で実施について、どの校種の管理職も肯定的な評価をしている。その中において特別支援学校は、とても評価できると答えている割合は他校種と比べ、やや少ない。(図4)

○ 回答の主な理由は以下のとおりである。

〈肯定的な内容〉

- ・学校、本人ともに負担が軽減される。
- ・意欲や意識の高揚，継続性が図れる。
- ・内容の充実，詰め込みの解消。
- ・経験に応じた研修。長期的ビジョンの研修ができる。
- ・指導力の向上が期待できる。
- ・複数の勤務校を踏まえた研修ができる。
- ・仲間と協議や情報交換ができる。
- ・成果発表までの時間に余裕ができる。
- ・実践を振り返ることができる。
- ・得意分野を生かせる。
- ・マンネリ化，固定化の防止。
- ・主体的な研修となっており，実践に結びつく。
- ・慢心になりやすい気持ち，我流を抑えられる。
- ・現場での実践や子どもと向き合う時間が増える。
- ・振り返りの時期としてちょうどよい。
- ・若手教員研修チームができ，活性化する。
- ・自分の課題を見つけることができる研修内容だから。
- ・人間関係を広げることができる。
- ・初任研が不十分な教員もいるため。

〈否定的な内容〉

- ・本人の負担感，多忙感が大きい。
- ・学校の業務に集中させたい。
- ・校内の支援体制が厳しい。学校側の負担が多い。
- ・自校での研修やOJTを重視すべき。
- ・1年で十分である。
- ・異動やそれに伴う評価者の変化，出産等，勤務状況の変化により，継続した研修が行いにくい。
- ・市町村や校内の研修がある。
- ・成果の検証まで手がまわらない。
- ・7年間に5回は多い。
- ・授業研究の負担が多い。
- ・出張人数が多いための調整が難しい。子どもの安全面での不安が出る。

(特支)

〈改善の視点に立った内容〉

- ・一度に数名が出張すると学校が手薄になるので，同じ研修を分散してもらえるとよい。
- ・長期休業中に実施してほしい。
- ・必要性のある研修を選択できるようにしてほしい。
- ・産休，育休への配慮。
- ・年間数回は進捗状況の確認等を兼ねた研修，新たな課題を見いだす機会となるような研修をお願いしたい。
- ・ステップアップを廃止して，１５年程度の研修を追加。
- ・カタカナの研修名が混同しやすい。

ウ １０年経験者研修以後の中後期層を対象とする悉皆研修の必要性について
〈１５年・２０年・３０年程度の経験者研修〉

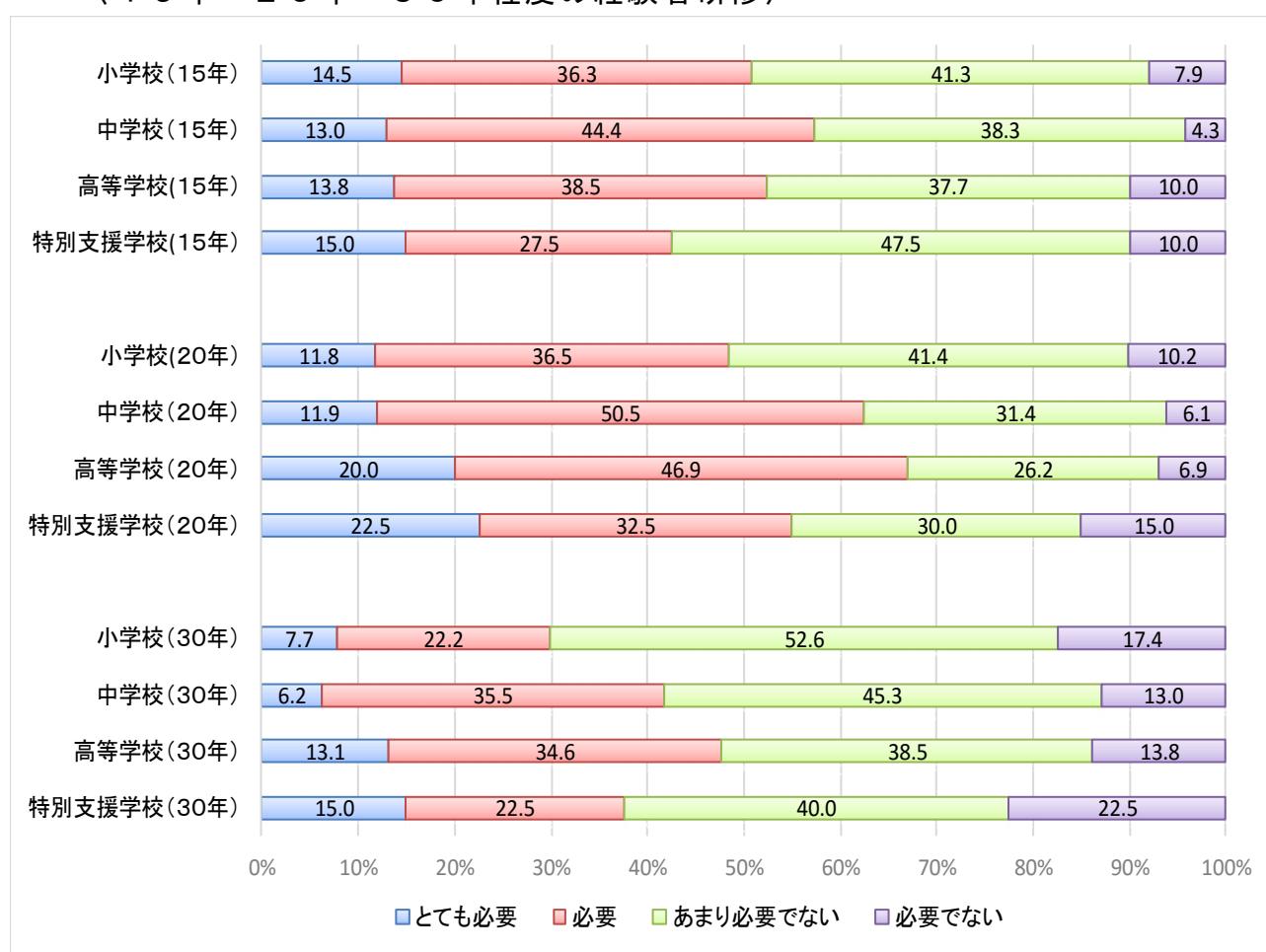


図５ 中後期層を対象とする悉皆研修の必要性について（管理職）

１０年経験者研修以後の中後期層を対象とする悉皆研修の必要性について，１５年程度，２０年程度の経験者の研修については，各校種とも管理職のおよそ半数が必要性を感じている。１５年程度の経験者の研修については，特別支援学校で，２０年程度の経験者の研修については小学校で否定的な回答の方が肯定的な回答を上回った。

３０年程度の研修については，どの校種においても必要性を感じていない管理職の方が多い。（図５）

○ 回答の主な理由は以下のとおりである。

〈中後期層の研修に必要性を感じている主な理由〉

- ・区切りごとに研修は必要である。
- ・いつでも研修は必要である。
- ・新しい情報や方向性については常に研修が必要である。
- ・ミドルリーダー育成の研修が必要である。
- ・教職生活のマンネリ化を防ぐ。
- ・管理職としての準備も必要である。
- ・モチベーションの維持や若手教員の育成に関する研修が必要である。
- ・教員免許更新講習と重ならない内容と時期で必要。
- ・新しい情報や方向性については常に研修が必要である。
- ・経験の振り返りとして必要。
- ・キャリアの形成のため。
- ・モラルアップ，不祥事防止のため。
- ・個人差の解消。
- ・同年代の交流によるメンタルヘルス。
- ・希望研修では底上げはできない。
- ・ベテラン層の活性化。
- ・10年以降は，希望研修や職務に応じた研修に委ねすぎだから。
- ・必要だが研修の内容や方法を考慮する必要がある。

〈中後期層の研修に必要性を感じていない主な理由〉

- ・免許更新もあり，これ以上必要ない。
- ・実務内容が多岐にわたり多くなるため。
- ・現場の仕事を担ってもらわないといけない。
- ・職務に応じた研修が必要である。
- ・自己研修で主体的に学ぶことができる世代である。
- ・推薦研修，希望研修，市町村研修など，他の必要な研修が与えられるため。
- ・研修内容をどうするかが難しい。
- ・OJTで活性化すべきである。
- ・職務，適正，資質に応じた研修や希望研修，選択研修を充実させるべきである。
- ・画一的な研修はなじまない。
- ・他の研修（各研究部会等の）が多いため。
- ・現場の負担。校務の支障。
- ・自主的な研修が望ましい。
- ・実務内容が多岐にわたり多くなるため。
- ・行うのであれば，若手教員育成のための技術の習得にかかわる研修を。

〈特に30年程度の経験者研修に必要性を感じていない主な理由〉

- ・知識や技能を若手に伝承したり，指導したりすることを優先させたい。
- ・自分自身の必要性に応じて行えばよい。
- ・職務や価値観も多様となり，研修課題が異なるため，一律は難しい。

- ・適応能力，研修意欲に難がある。
- ・ベテランの意欲のないものには逆効果。

全体を通して

初任者研修，５年経験者研修を１年間から複数年に分散させた点については，概ね評価しているといつてよい。ただ，小中学校に比べると，高等学校，特別支援学校は「とても評価できる」「評価できる」の値がやや下がる。その理由としては自由記述の内容から，若年層教員が増加していることに加え，学校規模が大きく，複数年の研修にすることで研修対象者が増え，校内体制にかかる負担が大きいこと等があげられる。

１０年経験者研修以降の経験者研修では，「２０年程度の経験者研修」で比較的「とても必要」「必要」の値が高く，小学校を除く３つの校種で半数を上回っている。

（４）市町村教育委員会（教育センター）等が独自に行っている教職員研修事業について

表６ 市町村独自の研修事業（経験年数に応じた悉皆研修）

No.	市町村	初任	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	11年目	12年目	13年目	14年目	15年目	16年目	17年目	18年目	19年目	20年目	21年目
1	A		○	○																		
2	B		○	○	○			○						○								
3	C	○	○	○				○					△	△				○	○			
4	D	○																				
5	E	○	○	○												○						○
6	F		○	○	○	○	○	○	○													
7	G	○																				
8	H	○																				
9	I	○	○	○															○			
10	J	○	○	○	○	○																
11	K	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○											
12	L	○	○	○	○	○	○															
13	M	○	○	○																		
14	N		○	○	○	○	○	○	○	○	○											
15	O	○	○	○	○	○																
16	P	○	○	○	○	○							○									
17	Q	○																				
18	R	○	○	○	○	○	○	○														
19	S	○																				
20	T	○	○	○																		
21	U	○	○	○	○	○	○															
22	V	○																				
23	W	○	○	○	○	○	○	○														
24	X		○	○	○	○	○	○	○													
25	Y	○																				
26	Z		○	○																		
27	a		○	○	○	○																
28	b			○	○	○																
29	c	○																				
30	d		○	○																		
31	e	○	○	○			○					○										○
32	f	○	○	○			○	○				○					○					○
33	g	○	○	○			○	○			○	○										

○…実施事業あり

△…隔年で実施

県内の政令市，中核市を含む５４市町村から情報提供を頂いた結果，多くの市町村で，独自に経験年数に応じた悉皆，希望研修を行っていることがわかった。

特に，若年層にあたる初任～３年目では，２０以上の市町村が独自の悉皆研修を実施しており，７つの市町村では，１０年経験者研修以降にも経験年数による悉皆研修を実施している。（表６）

ただ，地域によってはなかなか独自の研修を組みづらいうところもあり，教育研究所，教育研究会，教育事務所が主体となって実施しているところもある（それらは表６には含まれていない）。

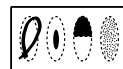
8 研究のまとめ

- 研修に対する研修生，管理職の意識を把握することができ，研修生，管理職ともに研修内容に対する必要性，研修方法に対する有効性を感じており，教員として学び続けようとする意欲を感じ取ることができた。
- 研修生，管理職の調査結果を細かく分析した結果，研修生，管理職が必要と感じている研修は実際の研修と概ね一致している。しかし，研修生に比べ管理職の方がより研修の必要性を感じているなど，調査対象，学校種，経験年数（ステージ）による研修の捉え方のギャップ，特徴が明らかになった。

そこで，今後の研修体系の見直しも含め，研修生の学校種や経験年数に応じた研修内容・方法についてさらに検討し，よりよい研修となるよう配慮していかなければならない。

- 各市町村に研修等の調査を行った結果，多くの市町村で，工夫をしながら独自に悉皆・希望研修を実施していることがわかった。県内においても地域によって実情は様々であり，よりよい研修事業の運営がなされるよう，県としても支援をしていく必要がある。

【 資 料 編 】



悪い



良い

「教職ライフステージ研修」に関するアンケート

千葉県総合教育センター カリキュラム開発部

県内の公立学校の教員の資質・能力の向上のために、今後どのような研修が必要とされているか、またどのような研修方法が有効かを調査しています。アンケートに御協力をお願いします。

選択式の回答は、該当箇所のマークをしっかりと塗りつぶしてください。多少はみ出しても構いません。

○: 空白マーク

●: 正しいぬりつぶし

/ : 不十分なぬりつぶし

記述式の回答は、回答欄からはみ出さないように記入してください。

この用紙は機械で処理します。回答欄以外に書き込みをしたり、用紙を汚したり、折り目を付けたりしないように注意してください。

1 あなたについてうかがいます。

(1) あなたの学校種を教えてください。

○ 小学校

○ 中学校

(2) あなたの学校の所在地（所管の教育事務所）について教えてください。

○ 葛南教育事務所

○ 東葛飾教育事務所

○ 北総教育事務所

○ 東上総教育事務所

○ 南房総教育事務所

(3) 本日の研修は、次のどの研修ですか。

○ 初任者研修

○ フォローアップ研修Ⅰ

○ フォローアップ研修Ⅱ

○ 5年経験者研修

○ ステップアップ研修

○ 10年経験者研修

2 あなたは現時点で以下の研修をどの程度必要であると感じていますか。

(4) 幅広い教養や豊かな人間性を身につけるための研修

○ とても必要である

○ 必要である

○ あまり必要でない

○ 必要でない

(5) 教員としての姿勢や心構え、使命や責任についての研修

○ とても必要である

○ 必要である

○ あまり必要でない

○ 必要でない

(6) 国や県の教育施策、教育法規に関する研修

○ とても必要である

○ 必要である

○ あまり必要でない

○ 必要でない

(7) 今日的教育課題に対応するための研修

○ とても必要である

○ 必要である

○ あまり必要でない

○ 必要でない

(8) 教科に関する研修

○ とても必要である

○ 必要である

○ あまり必要でない

○ 必要でない

(9) 道徳、特別活動、総合的な学習の時間に関する研修

○ とても必要である

○ 必要である

○ あまり必要でない

○ 必要でない

(10) クラブ活動や部活動に関する研修

○ とても必要である

○ 必要である

○ あまり必要でない

○ 必要でない

(11) 学級経営や学年経営に関する研修

○ とても必要である

○ 必要である

○ あまり必要でない

○



悪い



良い

(12) 生徒指導に関する研修

☐ とても必要である

☐ 必要である

☐ あまり必要でない

☐ 必要でない

(13) 児童生徒理解に関する研修

☐ とても必要である

☐ 必要である

☐ あまり必要でない

☐ 必要でない

(14) 特別支援教育に関する研修

☐ とても必要である

☐ 必要である

☐ あまり必要でない

☐ 必要でない

(15) 児童生徒と教師、児童生徒同士の人間関係づくりや集団づくりに関する研修

☐ とても必要である

☐ 必要である

☐ あまり必要でない

☐ 必要でない

(16) 児童生徒の思いやりの心や、豊かな人間性を育むための研修

☐ とても必要である

☐ 必要である

☐ あまり必要でない

☐ 必要でない

(17) 児童生徒の健康や安全に関する研修

☐ とても必要である

☐ 必要である

☐ あまり必要でない

☐ 必要でない

(18) 学校全体の教育の方向性や組織のあり方に関する研修

☐ とても必要である

☐ 必要である

☐ あまり必要でない

☐ 必要でない

(19) 校内研修のあり方や進め方に関する研修

☐ とても必要である

☐ 必要である

☐ あまり必要でない

☐ 必要でない

(20) 学校の危機管理に関する研修

☐ とても必要である

☐ 必要である

☐ あまり必要でない

☐ 必要でない

(21) 保護者や地域との関わり方に関する研修

☐ とても必要である

☐ 必要である

☐ あまり必要でない

☐ 必要でない

(22) メンタルヘルスに関する研修

☐ とても必要である

☐ 必要である

☐ あまり必要でない

☐ 必要でない

(23) その他、必要と感じている研修がありましたらお書きください。

3 あなたは自分の力量を高めるために、以下の研修方法は、有効だと思いますか。

(24) 研修生同士で協議したり発表しあったりすることで、課題や成果を共有する研修

☐ とても有効である

☐ 有効である

☐ あまり有効でない

☐ 有効でない

(25) 主体的に計画を立て、授業研究を行ったり研修会等に参加したりする研修

☐ とても有効である

☐ 有効である

☐ あまり有効でない

☐ 有効でない

(26) 校内等の部会やグループで、授業研究等を行う研修

☐ とても有効である

☐ 有効である

☐ あまり有効でない

☐ 有効でない

(27) 他校や異校種での体験、社会奉仕活動、自然体験による研修

☐ とても有効である

☐ 有効である

☐ あまり有効でない

☐ 有効でない

(28) 専門家や有識者、経験者等から講義や講話を受ける研修

☐ とても有効である

☐ 有効である

☐ あまり有効でない

☐

千葉県総合教育センターでは、県内の公立学校の前期層(初任者から10年経験者まで)教員の資質・能力の向上のために、今後どのような内容の研修が必要か、またどのような方法の研修が有効かについて調査しています。またあわせて、今後の研修体系の在り方についても考えていこうと思っています。各学校の管理職のみなさんの声をお聞かせください。御協力をお願いします。

1 学校コード, 設置者, 学校名をお書きください。

学校コード 立 学校
(半角数字で記入) (設置者) (学校名)

2 ステージ1(初任者研修及びフォローアップ研修Ⅰ・Ⅱ), ステージ2(5年経験者研修及びステップアップ研修), ステージ3(10年経験者研修)の各ステージにおける, 貴校の研修対象者数を数字で記入してください。対象者がいない場合は「0」を記入してください。

ステージ1 (初任者研修～フォローアップ研修Ⅰ・Ⅱ)	
ステージ2 (5年経験者研修～ステップアップ研修)	
ステージ3 (10年経験者研修)	

※対象者数については半角数字で記入してください。
また, 平成27年1月1日現在でお答えください。

3 ステージ1(初任者研修及びフォローアップ研修Ⅰ・Ⅱ), ステージ2(5年経験者研修及びステップアップ研修), ステージ3(10年経験者研修)の各ステージにおいて, 次の(1)～(19)の内容の研修は, どの程度必要だと思いますか。対象者が複数いるステージについては, 対象者全員を総合的に判断して回答してください。また今年度, 貴校に対象者がいないステージについても回答してください。※番号については半角数字で記入してください。

(1) 幅広い教養や豊かな人間性を身につけるための研修

ステージ1	ステージ2	ステージ3

- 1 とても必要である
- 2 必要である
- 3 あまり必要でない
- 4 必要でない

(2) 教員としての姿勢や心構え, 使命や責任についての研修

ステージ1	ステージ2	ステージ3

- 1 とても必要である
- 2 必要である
- 3 あまり必要でない
- 4 必要でない

(3) 国や県の教育施策, 教育法規に関する研修

ステージ1	ステージ2	ステージ3

- 1 とても必要である
- 2 必要である
- 3 あまり必要でない
- 4 必要でない

(4) 今日の教育課題に対応するための研修

ステージ1	ステージ2	ステージ3

- 1 とても必要である
- 2 必要である
- 3 あまり必要でない
- 4 必要でない

(5) 教科に関する研修

ステージ1	ステージ2	ステージ3

- 1 とても必要である
- 2 必要である
- 3 あまり必要でない
- 4 必要でない

(6) 道徳, 特別活動, 総合的な学習の時間に関する研修

ステージ1	ステージ2	ステージ3

- 1 とても必要である
- 2 必要である
- 3 あまり必要でない
- 4 必要でない

※ 教職ライフステージ研修

ステージ1

- ・初任者研修
- ・フォローアップ研修Ⅰ
- ・フォローアップ研修Ⅱ

ステージ2

- ・5年経験者研修
- ・ステップアップ研修

ステージ3

- ・10年経験者研修

「管理職対象調査 調査票」② ※電子データ

ステージ1	ステージ2	ステージ3

- 1 とても必要である
- 2 必要である
- 3 あまり必要でない
- 4 必要でない

※ 教職ライフステージ研修

ステージ1

- ・初任者研修
- ・フォローアップ研修Ⅰ
- ・フォローアップ研修Ⅱ

ステージ2

- ・5年経験者研修
- ・ステップアップ研修

ステージ3

- ・10年経験者研修

(8) 学級経営や学年経営に関する研修

ステージ1	ステージ2	ステージ3

- 1 とても必要である
- 2 必要である
- 3 あまり必要でない
- 4 必要でない

(9) 生徒指導に関する研修

ステージ1	ステージ2	ステージ3

- 1 とても必要である
- 2 必要である
- 3 あまり必要でない
- 4 必要でない

(10) 児童生徒理解に関する研修

ステージ1	ステージ2	ステージ3

- 1 とても必要である
- 2 必要である
- 3 あまり必要でない
- 4 必要でない

(11) 特別支援教育に関する研修

ステージ1	ステージ2	ステージ3

- 1 とても必要である
- 2 必要である
- 3 あまり必要でない
- 4 必要でない

(12) 児童生徒と教師、児童生徒同士の人間関係づくりや集団づくりに関する研修

ステージ1	ステージ2	ステージ3

- 1 とても必要である
- 2 必要である
- 3 あまり必要でない
- 4 必要でない

(13) 児童生徒の思いやりの心や、豊かな人間性を育むための研修

ステージ1	ステージ2	ステージ3

- 1 とても必要である
- 2 必要である
- 3 あまり必要でない
- 4 必要でない

(14) 児童生徒の健康や安全に関する研修

ステージ1	ステージ2	ステージ3

- 1 とても必要である
- 2 必要である
- 3 あまり必要でない
- 4 必要でない

(15) 学校全体の教育の方向性や組織の在り方に関する研修

ステージ1	ステージ2	ステージ3

- 1 とても必要である
- 2 必要である
- 3 あまり必要でない
- 4 必要でない

(16) 校内研修のあり方や進め方に関する研修

ステージ1	ステージ2	ステージ3

- 1 とても必要である
- 2 必要である
- 3 あまり必要でない
- 4 必要でない

(17) 学校の危機管理に関する研修

ステージ1	ステージ2	ステージ3

- 1 とても必要である
- 2 必要である
- 3 あまり必要でない
- 4 必要でない

「管理職対象調査 調査票」③ ※電子データ

(18) 保護者や地域との関わり方に関する研修

ステージ1	ステージ2	ステージ3

- 1 とても必要である
- 2 必要である
- 3 あまり必要でない
- 4 必要でない

(19) メンタルヘルスに関する研修

ステージ1	ステージ2	ステージ3

- 1 とても必要である
- 2 必要である
- 3 あまり必要でない
- 4 必要でない

(20) その他、必要と感じている研修がありましたらお書きください。

4 ステージ1(初任者研修及びフォローアップ研修Ⅰ・Ⅱ), ステージ2(5年経験者研修及びステップアップ研修), ステージ3(10年経験者研修)の各ステージにおいて, 次の(1)～(5)の方法の研修は, どの程度有効だと思いますか。対象者が複数いるステージについては, 対象者全員を総合的に判断して回答してください。今年度, 貴校に対象者がいないステージについても回答してください。※番号については半角数字で記入してください。

(1) 研修生同士で協議したり発表し合ったりすることで, 課題や成果を共有する研修

ステージ1	ステージ2	ステージ3

- 1 とても有効である
- 2 有効である
- 3 あまり有効でない
- 4 有効でない

※ 教職ライフステージ研修

(2) 主体的に計画を立て, 授業研究を行ったり, 研修会等に参加したりする研修

ステージ1	ステージ2	ステージ3

- 1 とても有効である
- 2 有効である
- 3 あまり有効でない
- 4 有効でない

(3) 校内等の部会やグループで, 授業研究等を行う研修

ステージ1	ステージ2	ステージ3

- 1 とても有効である
- 2 有効である
- 3 あまり有効でない
- 4 有効でない

(4) 他校や異校種での体験, 社会奉仕活動, 自然体験による研修

ステージ1	ステージ2	ステージ3

- 1 とても有効である
- 2 有効である
- 3 あまり有効でない
- 4 有効でない

(5) 専門家や有識者, 経験者等から講義や講話を受ける研修

ステージ1	ステージ2	ステージ3

- 1 とても有効である
- 2 有効である
- 3 あまり有効でない
- 4 有効でない

ステージ1

- ・初任者研修
- ・フォローアップ研修Ⅰ
- ・フォローアップ研修Ⅱ

ステージ2

- ・5年経験者研修
- ・ステップアップ研修

ステージ3

- ・10年経験者研修

「管理職対象調査 調査票」④ ※電子データ

- 5 平成22年3月、それまでの研修体系が見直され、現行の「千葉県教職員研修体系」になりました。その中で初任者や若手教員の資質向上を図る各々のライフステージに合った研修の在り方の必要性が検討され、初任者研修や5年経験者研修を複数年に分散して実施することにより、初年度の回数を減らすとともに継続性を持たせる等、その枠組みが見直されました。次の(1)、(2)について、どの程度評価できますか。今年度、貴校におけるステージ1及びステージ2の対象者がいない場合もお答えください。※番号については半角数字で記入してください。

- (1) それまでの初任者研修をステージ1として、フォローアップ研修Ⅰ・Ⅱとともに複数年で継続的に実施するものとしたこと
- 1 とても評価できる
2 評価できる
3 あまり評価できない
4 評価できない

その理由をお答えください。※ステージ1の内容等について触れていただいても結構です。

- (2) それまでの5年経験者研修をステージ2として、ステップアップ研修とともに複数年で継続的に実施するものとしたこと
- 1 とても評価できる
2 評価できる
3 あまり評価できない
4 評価できない

その理由をお答えください。※ステージ2の内容等について触れていただいても結構です。

- 6 現行の「千葉県教職員研修体系」では、10年経験者研修以後の、中後期層を対象とする教職経験に応じた悉皆研修は実施されていません。中後期層における悉皆研修の必要性について、どのように思いますか。※番号については半角数字で記入してください。

次の経験年数程度における悉皆研修の必要性について

15年程度	20年程度	30年程度

- 1 とても必要である
2 必要である
3 あまり必要でない
4 必要でない

その理由をお答えください。

質問は以上です。御協力ありがとうございました。

表1 研修内容の必要性、研修方法の有効性（ステージ別、校種別、対象別）

※「とても必要」＋「必要」（内容）、「とても有効」＋「有効」（方法）の割合

質 問 項 目		研 修 生 対 象												管 理 職 対 象											
		小学校			中学校			高等学校			特別支援学校			小学校			中学校			高等学校			特別支援学校		
		ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3
教員の資質	1.幅広い教養や豊かな人間性を身につける	95.9	91.4	97.6	96.3	93.0	89.5	90.2	84.1	82.5	92.4	89.3	89.9	97.7	98.4	92.4	97.5	97.5	91.3	93.8	93.1	80.8	100.0	95.0	85.0
	2.教員としての姿勢や心構え、使命や責任について	87.0	84.1	90.6	86.2	83.3	87.4	81.0	72.5	75.4	86.7	84.3	79.7	99.7	98.0	90.8	99.3	97.5	87.7	100.0	99.2	85.4	100.0	97.5	90.0
	3.国や県の教育施策、教育法規	77.6	82.0	88.6	72.7	74.4	82.8	70.0	71.2	77.2	82.9	83.6	91.3	92.1	96.7	98.5	88.1	92.8	96.4	91.5	97.7	99.2	85.0	100.0	100.0
	4.今日の教育課題に対応する	95.8	96.0	99.5	96.7	95.5	97.7	94.5	92.9	96.5	97.3	98.9	95.7	96.4	99.0	99.0	95.7	98.9	99.6	93.1	100.0	100.0	95.0	100.0	100.0
職務遂行・実践的	5.教科に関する研修	98.7	97.7	97.1	98.2	94.3	100.0	95.0	93.9	87.5	94.6	84.9	75.4	99.5	99.0	92.3	100.0	100.0	92.8	100.0	100.0	88.5	100.0	100.0	87.5
	6.道徳、特別活動、総合的な学習の時間	98.5	96.0	96.7	98.2	95.0	95.4	86.5	77.3	71.9	94.3	89.3	79.7	99.3	98.5	91.9	99.6	98.9	91.6	98.5	97.7	86.2	100.0	100.0	87.5
	7.クラブ活動や部活動	65.5	53.3	45.3	72.9	62.5	67.8	73.6	61.0	56.1	55.6	38.2	30.4	69.3	59.3	46.3	88.5	76.3	58.5	89.2	72.3	54.6	60.0	60.0	47.5
	8.学級経営や学年経営	97.8	95.2	95.3	98.0	92.7	88.5	94.5	84.7	84.2	94.9	85.4	87.0	99.5	99.3	96.7	99.3	98.6	94.2	99.2	98.5	94.6	95.0	97.5	95.0
指導力の向上	9.生徒指導に関する研修	97.7	95.6	95.7	98.4	93.9	93.0	95.2	87.1	89.5	97.6	93.1	95.6	99.3	99.3	98.4	98.6	98.6	94.2	100.0	99.2	93.8	100.0	97.5	97.5
	10.児童生徒理解	97.2	95.4	96.2	97.7	92.6	91.9	92.2	85.4	89.5	98.5	97.7	94.1	100.0	99.7	96.4	100.0	98.9	95.7	100.0	99.2	93.8	100.0	95.0	92.5
	11.特別支援教育	99.1	96.4	97.6	96.1	91.4	91.9	88.5	83.2	86.0	97.6	96.6	97.1	99.5	99.8	99.5	98.6	98.2	97.1	98.5	99.2	98.5	100.0	100.0	95.0
	12.児童生徒と教師、児童生徒同士の人間関係づくりや集団づくり	97.0	93.3	93.3	95.9	91.8	91.9	88.7	79.2	87.7	96.0	90.3	86.8	100.0	99.2	92.1	99.6	97.8	90.6	99.2	95.4	85.4	100.0	100.0	90.0
	13.思いやりの心や、豊かな人間性を育む	99.7	99.9	99.5	99.8	99.4	98.7	84.2	76.9	86.0	95.7	90.8	89.6	99.5	99.2	95.6	99.6	97.1	92.8	99.2	97.7	91.5	100.0	100.0	92.5
	14.児童生徒の健康や安全に関する研修	90.3	86.5	89.4	85.9	83.2	79.1	85.4	74.8	73.7	94.8	92.6	79.4	98.9	97.9	94.9	99.3	95.7	90.3	98.5	96.9	90.0	100.0	100.0	92.5
学校の管理運営	15.学校全体の教育の方向性や組織のあり方	78.5	75.5	91.4	74.8	73.8	76.7	75.9	66.2	75.4	81.0	76.0	73.5	81.1	92.1	96.9	83.1	86.7	93.5	80.8	95.4	97.7	77.5	97.5	100.0
	16.校内研修のあり方や進め方	73.6	75.1	85.1	65.1	60.7	70.6	55.2	51.6	56.1	69.5	61.7	54.4	73.1	89.5	96.2	68.7	83.8	94.6	75.4	88.5	90.8	60.0	92.5	97.5
	17.学校の危機管理に関する研修	83.9	80.4	89.4	80.6	78.6	83.7	78.1	70.7	82.5	87.8	84.6	72.1	96.1	97.9	99.2	95.7	96.8	98.2	93.1	98.5	98.5	95.0	97.5	100.0
	18.保護者や地域との関わり方	88.2	82.5	89.9	87.0	83.2	83.7	86.4	73.2	86.0	94.2	89.8	82.4	99.5	98.7	97.4	95.7	96.0	94.6	96.9	97.7	95.4	100.0	100.0	100.0
	19.メンタルヘルスに関する研修	75.3	69.8	78.6	78.6	68.0	65.9	75.9	67.9	77.2	79.9	74.9	63.2	98.2	97.2	95.9	96.4	93.9	91.0	96.9	98.5	92.3	100.0	97.5	100.0
研修形態・方法																									
	協議したり発表しあったりすることで、課題や成果を共有する	92.1	88.6	94.7	95.4	88.5	91.9	86.4	87.5	78.9	89.3	91.4	82.4	94.7	98.2	98.2	94.6	96.8	95.3	97.7	99.2	97.7	100.0	100.0	95.0
	主体的に計画を立て、授業研究を行ったり研修会等に参加したりする	85.5	92.8	96.7	88.8	83.2	83.5	82.4	82.9	73.7	91.1	89.1	88.2	88.8	97.9	96.9	88.1	97.1	96.0	95.4	99.2	95.4	87.5	97.5	97.5
	校内等の部会やグループで、授業研究等を行う	93.0	93.4	98.1	90.2	83.6	86.0	79.8	76.3	71.9	88.3	88.6	88.1	98.7	98.8	96.9	99.3	97.8	95.3	98.5	98.5	96.2	100.0	100.0	95.0
	他校や異校種での体験、社会奉仕活動、自然体験	79.2	76.8	85.2	80.3	72.3	77.9	73.0	66.9	77.2	89.0	84.5	77.9	89.3	90.6	82.8	87.0	91.7	85.9	96.2	94.6	83.8	95.0	95.0	80.0
	講義や講話を受ける	93.8	93.8	97.6	92.8	94.4	91.9	89.1	86.4	89.5	97.2	95.4	97.1	93.4	96.5	96.4	90.3	95.3	94.9	92.3	96.2	95.4	90.0	97.5	97.5

90%以上

80%以上90%未満

60%以上80%未満

※数値は割合(%)

表2 研修内容の必要性、研修方法の有効性（ステージ別、校種別、対象別）の平均値

※「とても必要」＋「必要」（内容）、「とても有効」＋「有効」（方法）の割合

質 問 項 目		ステージ別								学校種別									
		研修生平均				管理職平均				研修生平均					管理職平均				
		ステージ1	ステージ2	ステージ3	全体	ステージ1	ステージ2	ステージ3	全体	小	中	高	特	全体	小	中	高	特	全体
教員の資質	1.幅広い教養や豊かな人間性を身につける	93.7	89.4	89.9	91.0	97.3	96.0	87.4	93.5	95.0	92.9	85.6	90.5	91.0	96.2	95.4	89.2	93.3	93.5
	2.教員としての姿勢や心構え、使命や責任について	85.2	81.1	83.3	83.2	99.8	98.1	88.5	95.4	87.2	85.6	76.3	83.6	83.2	96.2	94.8	94.9	95.8	95.4
	3.国や県の実施策、教育法規	75.8	77.8	85.0	79.5	89.2	96.8	98.5	94.8	82.7	76.6	72.8	85.9	79.5	95.8	92.4	96.2	95.0	94.8
	4.今日的課題に対応する	96.1	95.8	97.3	96.4	95.0	99.5	99.7	98.1	97.1	96.6	94.6	97.3	96.4	98.1	98.1	97.7	98.3	98.1
職務遂行・実践的	5.教科に関する研修	96.6	92.7	90.0	93.1	99.9	99.8	90.3	96.6	97.8	97.5	92.1	85.0	93.1	96.9	97.6	96.2	95.8	96.6
	6.道徳、特別活動、総合的な学習の時間	94.4	89.4	85.9	89.9	99.3	98.8	89.3	95.8	97.1	96.2	78.6	87.8	89.9	96.6	96.7	94.1	95.8	95.8
	7.クラブ活動や部活動	66.9	53.8	49.9	56.9	76.8	67.0	51.7	65.2	54.7	67.7	63.6	41.4	56.9	58.3	74.4	72.1	55.8	65.2
	8.学級経営や学年経営	96.3	89.5	88.7	91.5	98.3	98.5	95.1	97.3	96.1	93.1	87.8	89.1	91.5	98.5	97.4	97.4	95.8	97.3
指導力の向上	9.生徒指導に関する研修	97.2	92.4	93.4	94.4	99.5	98.7	96.0	98.0	96.3	95.1	90.6	95.4	94.4	99.0	97.1	97.7	98.3	98.0
	10.児童生徒理解	96.4	92.8	92.9	94.0	100.0	98.2	94.6	97.6	96.3	94.1	89.0	96.8	94.0	98.7	98.2	97.7	95.8	97.6
	11.特別支援教育	95.3	91.9	93.1	93.4	99.1	99.3	97.5	98.7	97.7	93.1	85.9	97.1	93.4	99.6	98.0	98.7	98.3	98.7
	12.児童生徒と教師、児童生徒同士の人間関係づくりや集団づくり	94.4	88.7	89.9	91.0	99.7	98.1	89.5	95.8	94.5	93.2	85.2	91.0	91.0	97.1	96.0	93.3	96.7	95.8
	13.思いやりの心や、豊かな人間性を育む	94.9	91.8	93.4	93.3	99.6	98.5	93.1	97.1	99.7	99.3	82.4	92.0	93.3	98.1	96.5	96.2	97.5	97.1
	14.児童生徒の健康や安全に関する研修	89.1	84.3	80.4	84.6	99.2	97.6	91.9	96.2	88.7	82.7	78.0	88.9	84.6	97.2	95.1	95.1	97.5	96.2
学校の管理運営	15.学校全体の教育の方向性や組織のあり方	77.5	72.9	79.3	76.6	80.6	92.9	97.0	90.2	81.8	75.1	72.5	76.8	76.6	90.0	87.8	91.3	91.7	90.2
	16.校内研修のあり方や進め方	65.8	62.3	66.6	64.9	69.3	88.6	94.8	84.2	77.9	65.5	54.3	61.9	64.9	86.3	82.4	84.9	83.3	84.2
	17.学校の危機管理に関する研修	82.6	78.6	81.9	81.0	95.0	97.7	99.0	97.2	84.6	81.0	77.1	81.5	81.0	97.7	96.9	96.7	97.5	97.2
	18.保護者や地域との関わり方	89.0	82.2	85.5	85.5	98.0	98.1	96.8	97.7	86.9	84.6	81.8	88.8	85.5	98.5	95.4	96.7	100.0	97.7
	19.メンタルヘルスに関する研修	77.4	70.2	71.2	72.9	97.9	96.8	94.8	96.5	74.6	70.8	73.7	72.7	72.9	97.1	93.8	95.9	99.2	96.5
平 均		87.6	83.0	84.1	84.9	94.4	95.7	91.9	94.0	88.8	86.4	80.1	84.4	84.9	94.5	93.9	93.8	93.8	94.0
研修形態・方法	協議したり発表しあったりすることで、課題や成果を共有する	90.8	89.0	87.0	88.9	96.7	98.6	96.5	97.3	91.8	91.9	84.3	87.7	88.9	97.0	95.6	98.2	98.3	97.3
	主体的に計画を立て、授業研究を行ったり研修会等に参加したりする	86.9	87.0	85.5	86.5	89.9	97.9	96.4	94.8	91.7	85.2	79.7	89.5	86.5	94.5	93.7	96.7	94.2	94.8
	校内等の部会やグループで、授業研究等を行う	87.8	85.5	86.0	86.4	99.1	98.8	95.8	97.9	94.8	86.6	76.0	88.3	86.4	98.1	97.5	97.7	98.3	97.9
	他校や異校種での体験、社会奉仕活動、自然体験	80.4	75.1	79.6	78.4	91.9	93.0	83.1	89.3	80.4	76.8	72.4	83.8	78.4	87.6	88.2	91.5	90.0	89.3
	講義や講話を受ける	93.2	92.5	94.0	93.3	91.5	96.4	96.0	94.6	95.1	93.0	88.3	96.6	93.3	95.4	93.5	94.6	95.0	94.6
平 均		87.8	85.8	86.4	86.7	93.8	96.9	93.6	94.8	90.8	86.7	80.1	89.2	86.7	94.5	93.7	95.7	95.2	94.8

表3 研修内容の必要性、研修方法の有効性（ステージ別、校種別、対象別）

※「とても必要」（内容）、「とても有効」（方法）の割合

質 問 項 目		研 修 生 対 象												管 理 職 対 象											
		小学校			中学校			高等学校			特別支援学校			小学校			中学校			高等学校			特別支援学校		
		ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3
教員の資質	1.幅広い教養や豊かな人間性を身につける	44.9	38.8	35.8	43.1	36.6	44.2	35.1	27.5	38.6	35.3	32.6	36.2	68.3	51.7	45.3	73.7	50.0	43.0	81.5	50.8	39.2	70.0	42.5	35.0
	2.教員としての姿勢や心構え、使命や責任について	31.4	25.0	25.5	29.9	27.3	43.7	23.8	20.3	26.3	28.0	19.7	39.1	93.1	57.3	42.7	89.9	56.8	38.6	97.7	61.5	47.7	90.0	55.0	47.5
	3.国や県の教育施策、教育法規	15.1	18.3	19.4	11.9	15.3	14.9	14.8	12.7	10.5	16.5	18.6	36.2	35.4	36.5	64.0	39.0	31.4	52.5	56.2	55.4	68.5	37.5	45.0	65.0
	4.今日的教育課題に対応する	48.9	49.9	51.9	52.1	42.5	47.7	44.5	32.9	52.6	51.7	50.0	63.8	59.4	64.7	73.0	60.4	64.4	69.3	70.8	70.8	76.9	50.0	47.5	75.0
職務遂行・実践的	5.教科に関する研修	72.4	65.3	56.7	70.3	61.2	68.6	58.3	50.2	48.2	48.5	29.6	30.4	88.3	70.7	47.4	93.2	73.0	49.5	93.8	67.7	47.7	67.5	52.5	30.0
	6.道徳、特別活動、総合的な学習の時間	61.9	51.4	49.8	66.7	47.1	57.5	28.7	18.6	21.1	43.1	24.2	27.5	83.7	64.6	45.0	82.3	66.8	44.0	74.6	52.3	34.6	57.5	42.5	32.5
	7.クラブ活動や部活動	17.2	10.1	7.1	27.1	20.3	20.7	26.7	22.4	15.8	9.9	5.1	4.3	24.0	13.0	5.9	45.3	20.1	8.3	49.2	23.8	14.6	20.0	2.5	5.0
	8.学級経営や学年経営	65.0	55.3	47.2	68.9	52.7	49.4	47.9	29.3	29.8	43.5	24.2	29.0	89.0	69.9	60.0	85.6	71.6	55.6	85.4	71.5	60.0	47.5	65.0	60.0
指導力の向上	9.生徒指導に関する研修	61.4	47.0	40.9	67.1	54.0	50.0	44.4	30.0	50.9	47.9	36.0	50.0	76.1	76.1	65.1	76.3	76.3	60.6	87.7	66.9	51.5	77.5	80.0	57.5
	10.児童生徒理解	59.9	50.4	51.2	55.1	40.7	45.3	39.1	26.1	47.4	59.6	48.9	58.8	93.3	74.4	57.6	90.6	70.9	52.7	90.8	68.5	55.4	90.0	75.0	50.0
	11.特別支援教育	63.3	56.1	57.9	49.1	37.9	43.0	38.1	22.4	29.8	64.0	55.4	60.3	83.1	77.6	71.5	71.9	68.0	61.0	70.8	57.7	50.8	87.5	77.5	72.5
	12.児童生徒と教師、児童生徒同士の人間関係づくりや集団づくり	55.8	46.2	41.1	48.7	35.6	32.6	32.4	22.5	35.1	52.5	41.1	27.9	89.3	63.3	43.7	84.5	63.7	39.7	83.1	48.5	31.5	80.0	65.0	40.0
	13.思いやりの心や、豊かな人間性を育む	54.1	47.7	41.8	47.8	38.7	35.5	27.9	19.6	28.1	44.8	28.2	28.4	77.0	61.9	48.3	72.7	58.3	41.9	68.5	45.4	33.8	72.5	55.0	42.5
	14.児童生徒の健康や安全に関する研修	31.1	19.5	22.7	23.1	17.0	18.6	25.4	15.0	14.0	41.0	25.7	20.6	67.3	49.4	40.0	63.3	43.9	37.2	67.7	48.5	39.2	82.5	52.5	42.5
学校の管理運営	15.学校全体の教育の方向性や組織のあり方	18.7	18.9	24.3	18.3	17.4	26.7	18.3	16.7	15.8	18.7	16.0	20.6	25.0	31.2	69.6	30.6	31.3	63.2	36.2	43.8	76.2	25.0	42.5	75.0
	16.校内研修のあり方や進め方	16.8	19.9	26.4	11.7	10.7	16.5	12.6	8.7	8.8	14.9	6.3	13.2	20.9	34.6	66.7	22.3	22.3	54.9	31.5	36.9	56.9	17.5	27.5	67.5
	17.学校の危機管理に関する研修	21.5	18.9	30.3	19.6	17.2	24.4	20.1	13.9	26.3	25.8	17.7	23.5	55.5	57.2	78.3	60.1	60.4	77.6	55.4	57.7	80.0	60.0	62.5	80.0
	18.保護者や地域との関わり方	30.5	23.7	28.8	28.9	23.7	29.1	24.4	17.4	24.6	40.4	31.3	36.8	62.4	54.7	55.2	56.1	52.5	60.6	63.1	60.8	66.2	62.5	60.0	65.0
	19.メンタルヘルスに関する研修	27.1	16.7	19.0	24.5	18.8	22.4	21.4	19.5	22.8	25.5	21.7	19.1	60.1	42.3	50.2	57.9	42.8	48.0	60.0	49.2	53.8	62.5	60.0	60.0
研修形態・方法																									
	協議したり発表しあったりすることで、課題や成果を共有する	38.5	35.4	46.4	42.9	39.5	55.8	32.2	34.8	29.8	33.1	42.9	26.5	63.5	61.9	62.3	66.2	59.0	57.4	79.2	69.2	60.8	77.5	70.0	67.5
	主体的に計画を立て、授業研究を行ったり研修会等に参加したりする	27.2	32.7	38.8	26.0	24.0	30.6	19.6	22.0	21.1	31.0	22.9	39.7	24.2	60.0	66.4	46.8	55.0	54.9	62.3	65.4	60.0	42.5	47.5	62.5
	校内等の部会やグループで、授業研究等を行う	35.4	36.7	42.1	27.8	19.1	19.8	21.9	16.4	17.5	30.1	24.0	31.3	72.7	64.9	54.0	69.9	58.3	49.1	66.2	61.5	51.5	60.0	60.0	57.5
	他校や異校種での体験、社会奉仕活動、自然体験	24.9	18.6	20.6	27.8	20.5	26.7	20.7	19.2	22.8	33.3	21.8	27.9	45.0	34.5	26.3	43.3	36.5	29.7	63.8	47.7	33.1	60.0	47.5	40.0
	講義や講話を受ける	27.1	39.6	36.1	45.1	36.2	45.3	36.1	26.1	36.8	45.9	38.5	42.6	43.7	41.2	46.6	41.7	35.3	40.1	44.6	40.0	43.8	35.0	35.0	42.5

75%以上

50%以上75%未満

40%以上50%未満

※数値は割合(%)

表4 研修内容の必要性、研修方法の有効性（ステージ別、校種別、対象別）の平均値

※「とても必要」（内容）、「とても有効」（方法）の割合

質 問 項 目		ステージ別								学校種別									
		研修生平均				管理職平均				研修生平均					管理職平均				
		ステージ1	ステージ2	ステージ3	全体	ステージ1	ステージ2	ステージ3	全体	小	中	高	特	全体	小	中	高	特	全体
教員の資質	1.幅広い教養や豊かな人間性を身につける	39.6	33.9	38.7	37.4	73.4	48.7	40.6	54.3	39.8	41.3	33.7	34.7	37.4	55.1	55.6	57.2	49.2	54.3
	2.教員としての姿勢や心構え、使命や責任について	28.3	23.1	33.7	28.3	92.7	57.7	44.1	64.8	27.3	33.6	23.5	28.9	28.3	64.4	61.8	69.0	64.2	64.8
	3.国や県の教育施策、教育法規	14.6	16.2	20.3	17.0	42.0	42.1	62.5	48.9	17.6	14.0	12.6	23.8	17.0	45.3	41.0	60.0	49.2	48.9
	4.今日的教育課題に対応する	49.3	43.8	54.0	49.0	60.1	61.8	73.6	65.2	50.2	47.4	43.3	55.1	49.0	65.7	64.7	72.8	57.5	65.2
職務遂行・実践的	5.教科に関する研修	62.4	51.6	51.0	55.0	85.7	66.0	43.6	65.1	64.8	66.7	52.2	36.2	55.0	68.8	71.9	69.7	50.0	65.1
	6.道徳、特別活動、総合的な学習の時間	50.1	35.3	39.0	41.5	74.5	56.6	39.0	56.7	54.4	57.1	22.8	31.6	41.5	64.4	64.4	53.8	44.2	56.7
	7.クラブ活動や部活動	20.2	14.5	12.0	15.6	34.6	14.9	8.5	19.3	11.5	22.7	21.6	6.4	15.6	14.3	24.6	29.2	9.2	19.3
	8.学級経営や学年経営	56.3	40.4	38.9	45.2	76.9	69.5	58.9	68.4	55.8	57.0	35.7	32.2	45.2	73.0	70.9	72.3	57.5	68.4
指導力の向上	9.生徒指導に関する研修	55.2	41.7	47.9	48.3	79.4	74.8	58.7	71.0	49.8	57.0	41.7	44.6	48.3	72.4	71.1	68.7	71.7	71.0
	10.児童生徒理解	53.4	41.5	50.7	48.5	91.2	72.2	53.9	72.4	53.8	47.0	37.5	55.8	48.5	75.1	71.4	71.5	71.7	72.4
	11.特別支援教育	53.6	43.0	47.8	48.1	78.3	70.2	63.9	70.8	59.1	43.3	30.1	59.9	48.1	77.4	67.0	59.7	79.2	70.8
	12.児童生徒と教師、児童生徒同士の人間関係づくりや集団づくり	47.3	36.4	34.2	39.3	84.2	60.1	38.7	61.0	47.7	39.0	30.0	40.5	39.3	65.4	62.6	54.4	61.7	61.0
	13.思いやりの心や、豊かな人間性を育む	43.7	33.5	33.4	36.9	72.7	55.1	41.6	56.5	47.9	40.7	25.2	33.8	36.9	62.4	57.6	49.2	56.7	56.5
	14.児童生徒の健康や安全に関する研修	30.1	19.3	19.0	22.8	70.2	48.6	39.7	52.8	24.4	19.6	18.1	29.1	22.8	52.2	48.1	51.8	59.2	52.8
学校の管理運営	15.学校全体の教育の方向性や組織のあり方	18.5	17.3	21.8	19.2	29.2	37.2	71.0	45.8	20.6	20.8	17.0	18.4	19.2	41.9	41.7	52.1	47.5	45.8
	16.校内研修のあり方や進め方	14.0	11.4	16.2	13.9	23.1	30.3	61.5	38.3	21.0	13.0	10.0	11.5	13.9	40.7	33.2	41.8	37.5	38.3
	17.学校の危機管理に関する研修	21.8	16.9	26.1	21.6	57.7	59.4	79.0	65.4	23.6	20.4	20.1	22.4	21.6	63.7	66.0	64.4	67.5	65.4
	18.保護者や地域との関わり方	31.1	24.0	29.8	28.3	61.0	57.0	61.7	59.9	27.7	27.2	22.1	36.1	28.3	57.4	56.4	63.3	62.5	59.9
	19.メンタルヘルスに関する研修	24.6	19.2	20.8	21.5	60.1	48.6	53.0	53.9	20.9	21.9	21.2	22.1	21.5	50.9	49.6	54.4	60.8	53.9
	平 均	37.6	29.6	33.4	33.5	65.6	54.3	52.3	57.4	37.8	36.3	27.3	32.8	33.5	58.5	56.8	58.7	55.6	57.4
研修形態・方法	協議したり発表しあったりすることで、課題や成果を共有する	36.7	38.2	39.6	38.1	71.6	65.0	62.0	66.2	40.1	46.1	32.3	34.2	38.1	62.6	60.9	69.7	71.7	66.2
	主体的に計画を立て、授業研究を行ったり研修会等に参加したりする	26.0	25.4	32.5	28.0	44.0	57.0	61.0	54.0	32.9	26.9	20.9	31.2	28.0	50.2	52.2	62.6	50.8	54.0
	校内等の部会やグループで、授業研究等を行う	28.8	24.0	27.7	26.8	67.2	61.2	53.0	60.5	38.1	22.2	18.6	28.5	26.8	63.9	59.1	59.7	59.2	60.5
	他校や異校種での体験、社会奉仕活動、自然体験	26.7	20.0	24.5	23.7	53.0	41.5	32.3	42.3	21.4	25.0	20.9	27.7	23.7	35.3	36.5	48.2	49.2	42.3
	講義や講話を受ける	38.5	35.1	40.2	38.0	41.3	37.9	43.3	40.8	34.3	42.2	33.0	42.3	38.0	43.8	39.0	42.8	37.5	40.8

図1 その他必要と感じている研修（研修生）

※ 自由記述 複数回答可

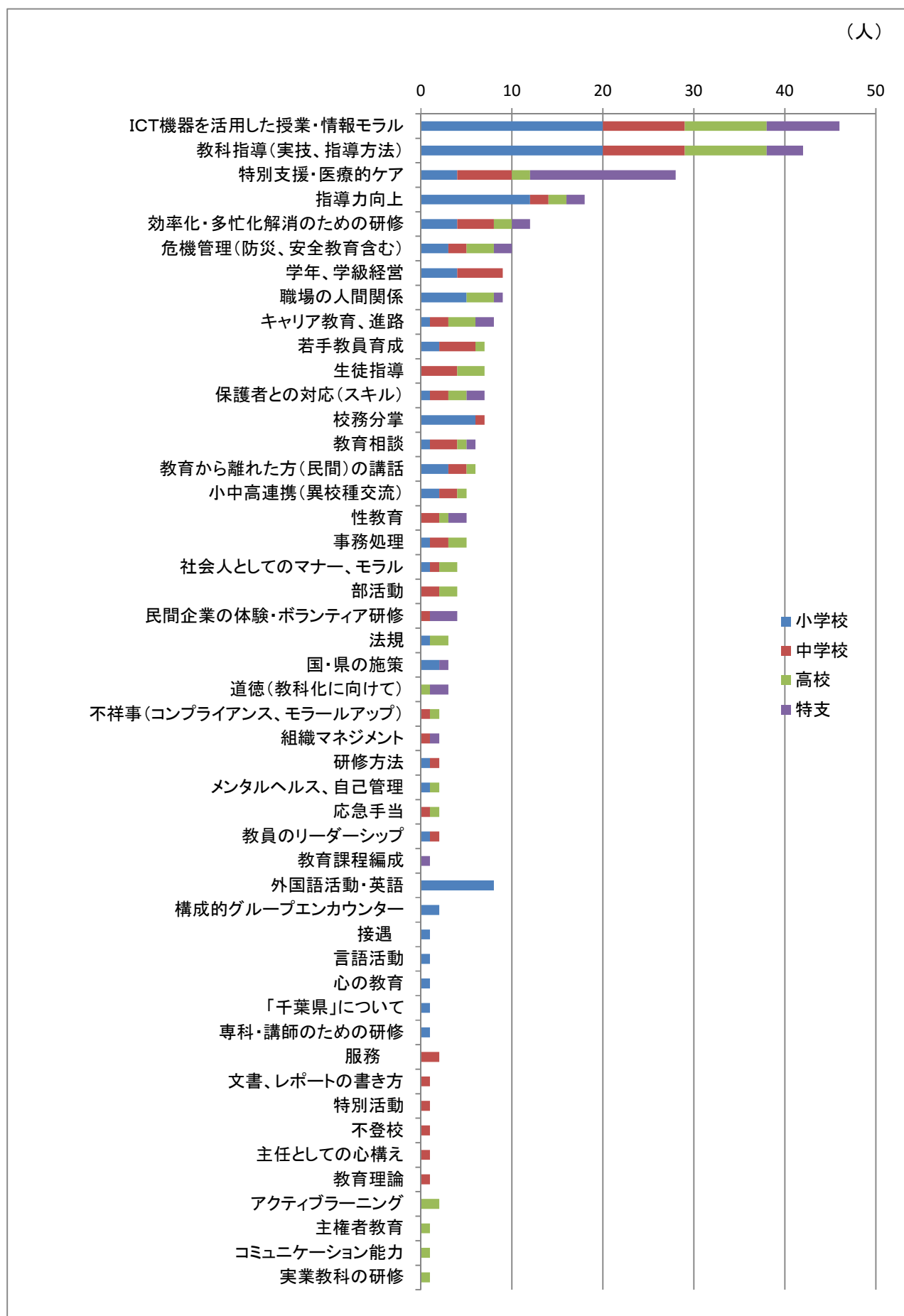


図2 その他必要と感じている研修（管理職）

※ 自由記述 複数回答可

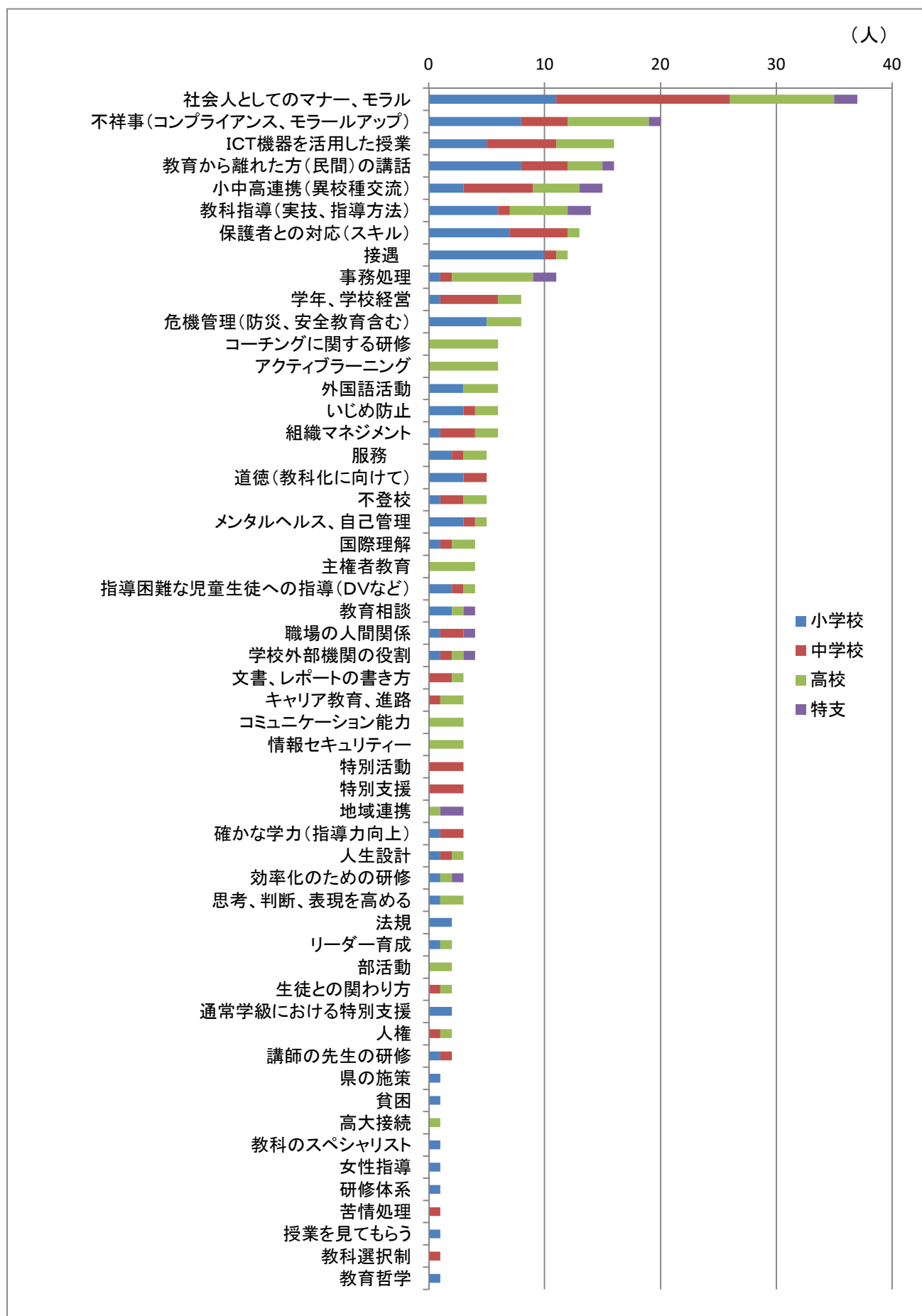


表5 研修生対象アンケート結果と実際の研修内容の比較

質 問 項 目		研 修 生 対 象												実 際 の 研 修											
		小学校			中学校			高等学校			特別支援学校			小学校			中学校			高等学校			特別支援学校		
		ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3
教員の資質	1.幅広い教養や豊かな人間性を身につける	44.9	38.8	35.8	43.1	36.6	44.2	35.1	27.5	38.6	35.3	32.6	36.2												
	2.教員としての姿勢や心構え、使命や責任について	31.4	25.0	25.5	29.9	27.3	43.7	23.8	20.3	26.3	28.0	19.7	39.1												
	3.国や県の教育施策、教育法規	15.1	18.3	19.4	11.9	15.3	14.9	14.8	12.7	10.5	16.5	18.6	36.2												
	4.今日的教育課題に対応する	48.9	49.9	51.9	52.1	42.5	47.7	44.5	32.9	52.6	51.7	50.0	63.8												
職務遂行・実践的	5.教科に関する研修	72.4	65.3	56.7	70.3	61.2	68.6	58.3	50.2	48.2	48.5	29.6	30.4												
	6.道徳、特別活動、総合的な学習の時間	61.9	51.4	49.8	66.7	47.1	57.5	28.7	18.6	21.1	43.1	24.2	27.5												
	7.クラブ活動や部活動	17.2	10.1	7.1	27.1	20.3	20.7	26.7	22.4	15.8	9.9	5.1	4.3												
	8.学級経営や学年経営	65.0	55.3	47.2	68.9	52.7	49.4	47.9	29.3	29.8	43.5	24.2	29.0												
指導力の向上	9.生徒指導に関する研修	61.4	47.0	40.9	67.1	54.0	50.0	44.4	30.0	50.9	47.9	36.0	50.0												
	10.児童生徒理解	59.9	50.4	51.2	55.1	40.7	45.3	39.1	26.1	47.4	59.6	48.9	58.8												
	11.特別支援教育	63.3	56.1	57.9	49.1	37.9	43.0	38.1	22.4	29.8	64.0	55.4	60.3												
	12.児童生徒と教師、児童生徒同士の人間関係づくりや集団づくり	55.8	46.2	41.1	48.7	35.6	32.6	32.4	22.5	35.1	52.5	41.1	27.9												
	13.思いやりの心や、豊かな人間性を育む	54.1	47.7	41.8	47.8	38.7	35.5	27.9	19.6	28.1	44.8	28.2	28.4												
	14.児童生徒の健康や安全に関する研修	31.1	19.5	22.7	23.1	17.0	18.6	25.4	15.0	14.0	41.0	25.7	20.6												
学校の管理運営	15.学校全体の教育の方向性や組織のあり方	18.7	18.9	24.3	18.3	17.4	26.7	18.3	16.7	15.8	18.7	16.0	20.6												
	16.校内研修のあり方や進め方	16.8	19.9	26.4	11.7	10.7	16.5	12.6	8.7	8.8	14.9	6.3	13.2												
	17.学校の危機管理に関する研修	21.5	18.9	30.3	19.6	17.2	24.4	20.1	13.9	26.3	25.8	17.7	23.5												
	18.保護者や地域との関わり方	30.5	23.7	28.8	28.9	23.7	29.1	24.4	17.4	24.6	40.4	31.3	36.8												
	19.メンタルヘルスに関する研修	27.1	16.7	19.0	24.5	18.8	22.4	21.4	19.5	22.8	25.5	21.7	19.1												

第1位

第2位

該当する研修が1つ

該当する研修が2つ

第3位

※数値は割合

該当する研修が3つ以上

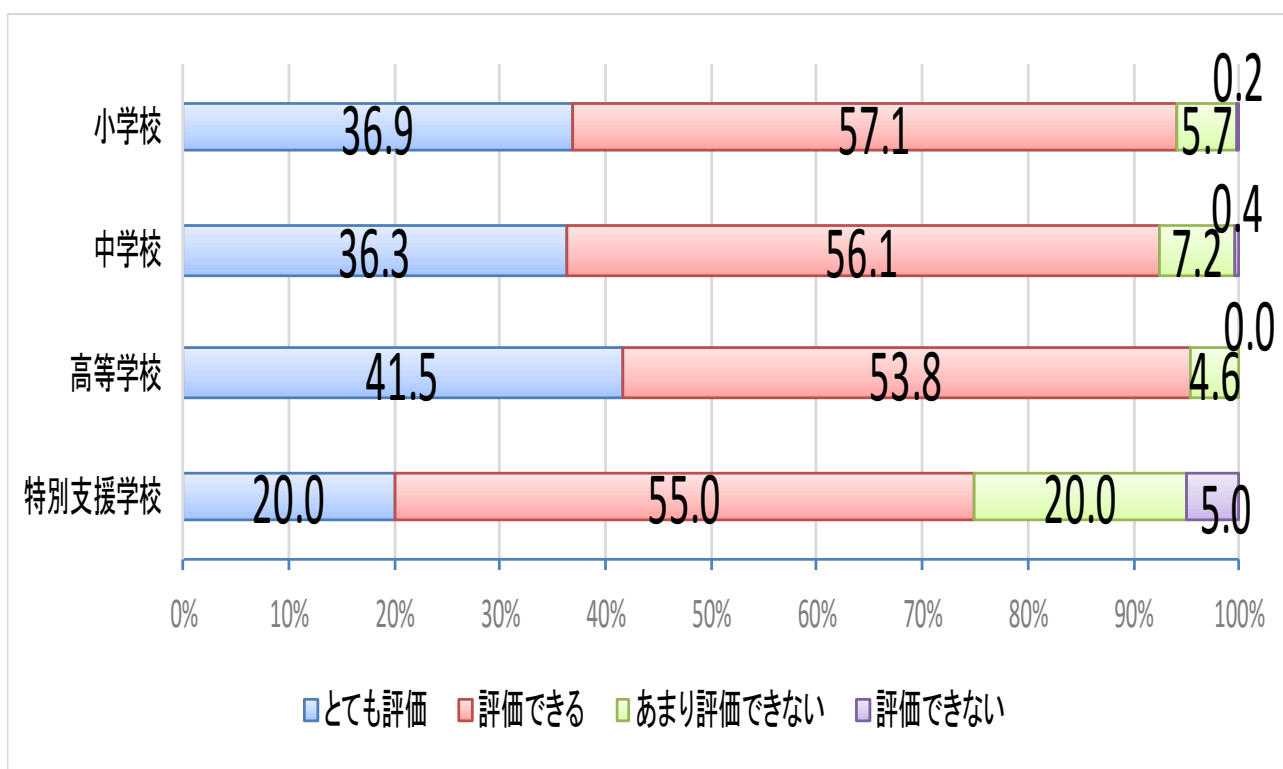


図3 初任者研修を複数で実施したことについて

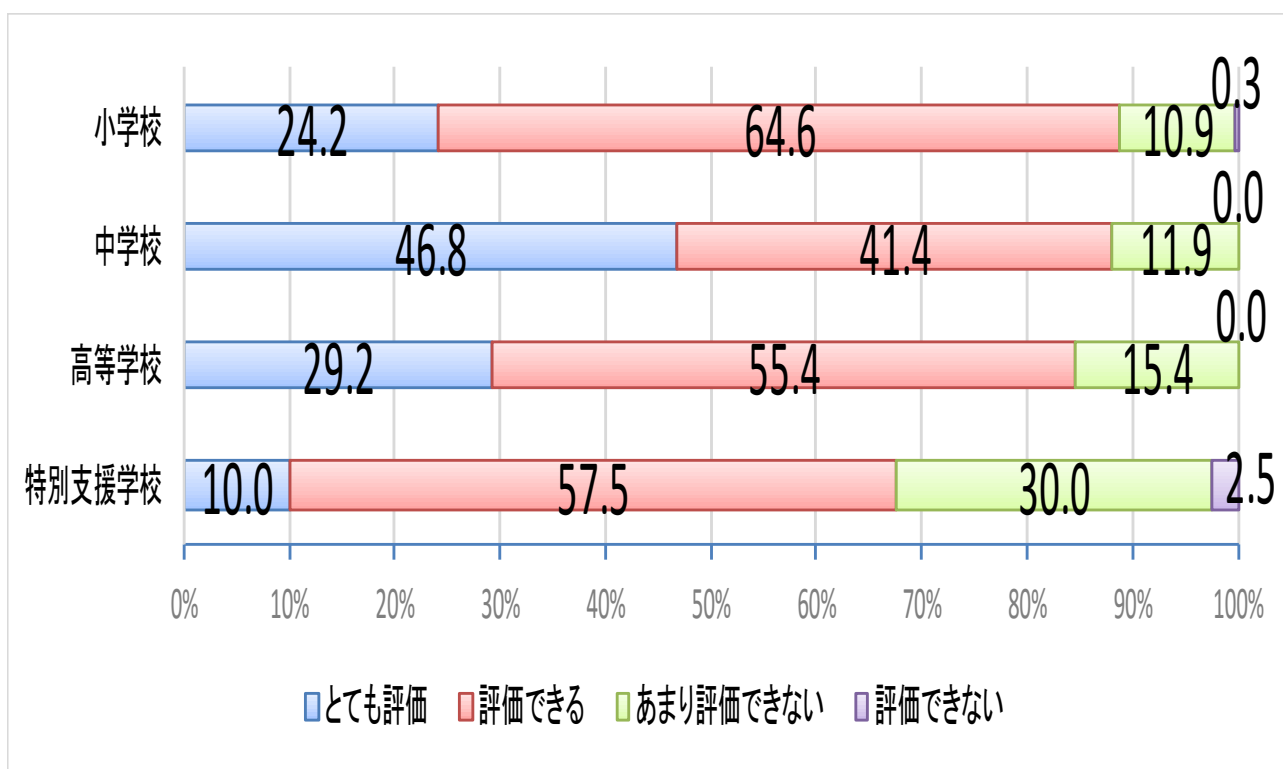


図4 5年経験者研修を複数で実施したことについて

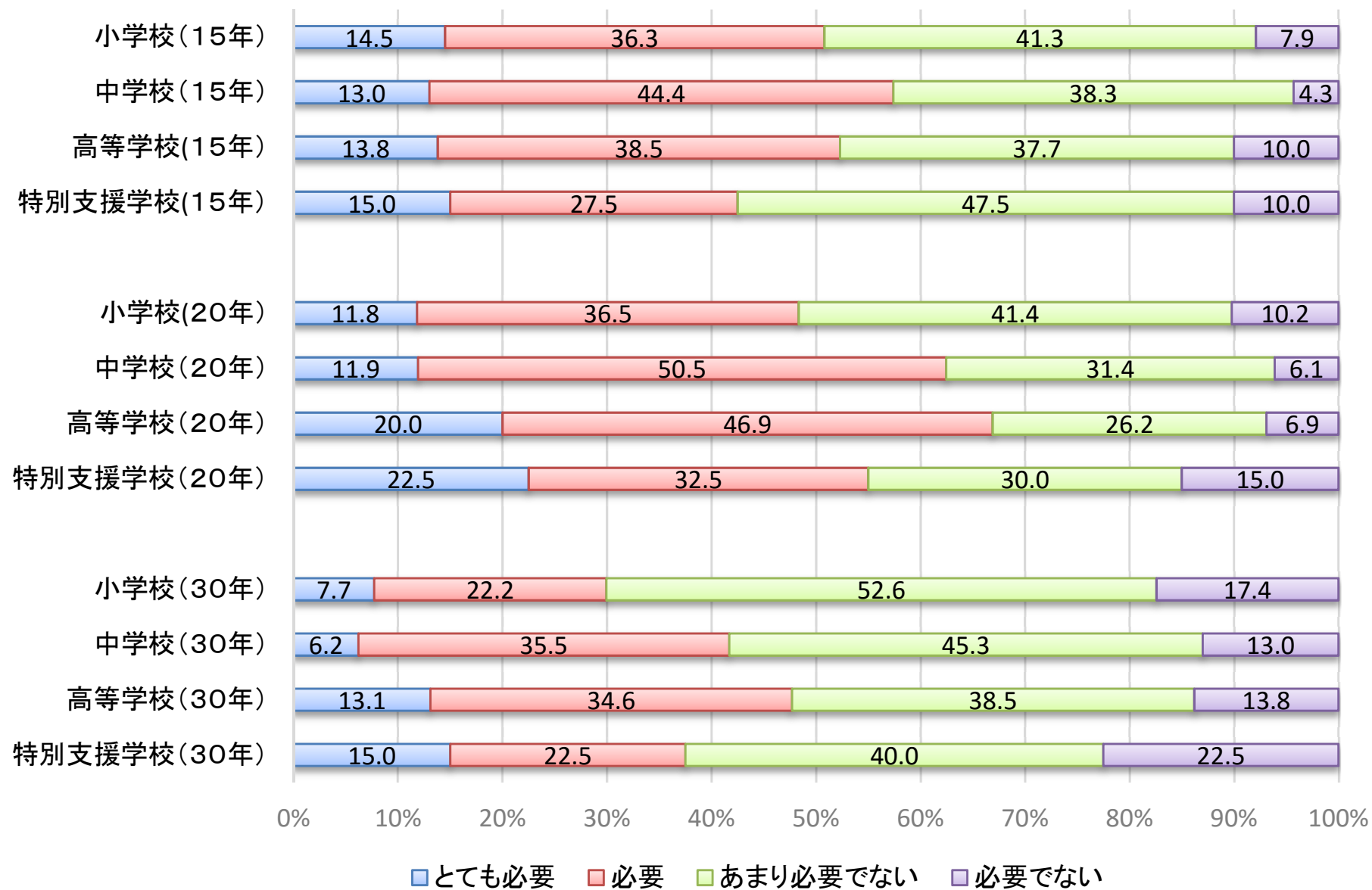


図5 中後期層を対象とする悉皆研修の必要性について

表6 市町村独自の研修事業（経験年数に応じた悉皆研修）

No.	市町村	初任	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	11年目	12年目	13年目	14年目	15年目	16年目	17年目	18年目	19年目	20年目	21年目
1	A		○	○																		
2	B		○	○	○			○						○								
3	C	○	○	○				○					△	△				○	○			
4	D	○																				
5	E	○	○	○												○						○
6	F		○	○	○	○	○	○	○													
7	G	○																				
8	H	○																				
9	I	○	○	○																○		
10	J	○	○	○	○	○																
11	K	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○											
12	L	○	○	○	○	○	○															
13	M	○	○	○																		
14	N		○	○	○	○	○	○	○	○	○											
15	O	○	○	○	○	○																
16	P	○	○	○	○	○							○									
17	Q	○																				
18	R	○	○	○	○	○	○	○														
19	S	○																				
20	T	○	○	○																		
21	U	○	○	○	○	○	○															
22	V	○																				
23	W	○	○	○	○	○	○	○														
24	X		○	○	○	○	○	○	○													
25	Y	○																				
26	Z		○	○																		
27	a		○	○	○	○																
28	b			○	○	○																
29	c	○																				
30	d		○	○																		
31	e	○	○	○			○					○										○
32	f	○	○	○			○	○				○				○						○
33	g	○	○	○			○	○			○	○										

○…実施事業あり

△…隔年で実施

表7 研修内容の必要性、研修方法の有効性（ステージ別、校種別、対象別）

※「必要でない」＋「あまり必要でない」（内容）、「有効でない」＋「あまり有効でない」（方法）

質 問 項 目		研 修 生 対 象												管 理 職 対 象											
		小学校			中学校			高等学校			特別支援学校			小学校			中学校			高等学校			特別支援学校		
		ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3
教員の資質	1.幅広い教養や豊かな人間性を身につける	4.1	8.6	2.4	3.7	7.0	10.5	9.8	15.9	17.5	7.6	10.7	10.1	2.3	1.6	7.6	2.5	2.5	8.7	6.2	6.9	19.2	0.0	5.0	15.0
	2.教員としての姿勢や心構え、使命や責任について	13.0	15.9	9.4	13.8	16.7	12.6	19.0	27.5	24.6	13.3	15.7	20.3	0.3	2.0	9.2	0.7	2.5	12.3	0.0	0.8	14.6	0.0	2.5	10.0
	3.国や県の教育施策、教育法規	22.4	18.0	11.4	27.3	25.6	17.2	30.0	28.8	22.8	17.1	16.4	8.7	7.9	3.3	1.5	11.9	7.2	3.6	8.5	2.3	0.8	15.0	0.0	0.0
	4.今日的教育課題に対応する	4.2	4.0	0.5	3.3	4.5	2.3	5.5	7.1	3.5	2.7	1.1	4.3	3.6	1.0	1.0	4.3	1.1	0.4	6.9	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0
職務遂行・実践的	5.教科に関する研修	1.3	2.3	2.9	1.8	5.7	0.0	5.0	6.1	12.5	5.4	15.1	24.6	0.5	1.0	7.7	0.0	0.0	7.2	0.0	0.0	11.5	0.0	0.0	12.5
	6.道徳、特別活動、総合的な学習の時間	1.5	4.0	3.3	1.8	5.0	4.6	13.5	22.7	28.1	5.7	10.7	20.3	0.7	1.5	8.1	0.4	1.1	8.4	1.5	2.3	13.8	0.0	0.0	12.5
	7.クラブ活動や部活動	34.5	46.7	54.7	27.1	37.5	32.2	26.4	39.0	43.9	44.4	61.8	69.6	30.7	40.7	53.7	11.5	23.7	41.5	10.8	27.7	45.4	40.0	40.0	52.5
	8.学級経営や学年経営	2.2	4.8	4.7	2.0	7.3	11.5	5.5	15.3	15.8	5.1	14.6	13.0	0.5	0.7	3.3	0.7	1.4	5.8	0.8	1.5	5.4	5.0	2.5	5.0
指導力の向上	9.生徒指導に関する研修	2.3	4.4	4.3	1.6	6.1	7.0	4.8	12.9	10.5	2.4	6.9	4.4	0.7	0.7	1.6	1.4	1.4	5.8	0.0	0.8	6.2	0.0	2.5	2.5
	10.児童生徒理解	2.8	4.6	3.8	2.3	7.4	8.1	7.8	14.6	10.5	1.5	2.3	5.9	0.0	0.3	3.6	0.0	1.1	4.3	0.0	0.8	6.2	0.0	5.0	7.5
	11.特別支援教育	0.9	3.6	2.4	3.9	8.6	8.1	11.5	16.8	14.0	2.4	3.4	2.9	0.5	0.2	0.5	1.4	1.8	2.9	1.5	0.8	1.5	0.0	0.0	5.0
	12.児童生徒と教師、児童生徒同士の人間関係づくりや集団づくり	3.0	6.7	6.7	4.1	8.2	8.1	11.3	20.8	12.3	4.0	9.7	13.2	0.0	0.8	7.9	0.4	2.2	9.4	0.8	4.6	14.6	0.0	0.0	10.0
	13.思いやりの心や、豊かな人間性を育む	0.3	0.1	0.5	0.2	0.6	1.3	15.8	23.1	14.0	4.3	9.2	10.4	0.5	0.8	4.4	0.4	2.9	7.2	0.8	2.3	8.5	0.0	0.0	7.5
	14.児童生徒の健康や安全に関する研修	9.7	13.5	10.6	14.1	16.8	20.9	14.6	25.2	26.3	5.2	7.4	20.6	1.1	2.1	5.1	0.7	4.3	9.7	1.5	3.1	10.0	0.0	0.0	7.5
学校の管理運営	15.学校全体の教育の方向性や組織のあり方	21.5	24.5	8.6	25.2	26.2	23.3	24.1	33.8	24.6	19.0	24.0	26.5	18.9	7.9	3.1	16.9	13.3	6.5	19.2	4.6	2.3	22.5	2.5	0.0
	16.校内研修のあり方や進め方	26.4	24.9	14.9	34.9	39.3	29.4	44.8	48.4	43.9	30.5	38.3	45.6	26.9	10.5	3.8	31.3	16.2	5.4	24.6	11.5	9.2	40.0	7.5	2.5
	17.学校の危機管理に関する研修	16.1	19.6	10.6	19.4	21.4	16.3	21.9	29.3	17.5	12.2	15.4	27.9	3.9	2.1	0.8	4.3	3.2	1.8	6.9	1.5	1.5	5.0	2.5	0.0
	18.保護者や地域との関わり方	11.8	17.5	10.1	13.0	16.8	16.3	13.6	26.8	14.0	5.8	10.2	17.6	0.5	1.3	2.6	4.3	4.0	5.4	3.1	2.3	4.6	0.0	0.0	0.0
	19.メンタルヘルスに関する研修	24.7	30.2	21.4	21.4	32.0	34.1	24.1	32.1	22.8	20.1	25.1	36.8	1.8	2.8	4.1	3.6	6.1	9.0	3.1	1.5	7.7	0.0	2.5	0.0
研修形態・方法																									
	協議したり発表しあったりすることで、課題や成果を共有する	7.9	11.4	5.3	4.6	11.5	8.1	13.6	12.5	21.1	10.7	8.6	17.6	5.3	1.8	1.8	5.4	3.2	4.7	2.3	0.8	2.3	0.0	0.0	5.0
	主体的に計画を立て、授業研究を行ったり研修会等に参加したりする	14.5	7.2	3.3	11.2	16.8	16.5	17.6	17.1	26.3	8.9	10.9	11.8	11.2	2.1	3.1	11.9	2.9	4.0	4.6	0.8	4.6	12.5	2.5	2.5
	校内等の部会やグループで、授業研究等を行う	7.0	6.6	1.9	9.8	16.4	14.0	20.2	23.7	28.1	11.7	11.4	11.9	1.3	1.2	3.1	0.7	2.2	4.7	1.5	1.5	3.8	0.0	0.0	5.0
	他校や異校種での体験、社会奉仕活動、自然体験	20.8	23.2	14.8	19.7	27.7	22.1	27.0	33.1	22.8	11.0	15.5	22.1	10.7	9.4	17.2	13.0	8.3	14.1	3.8	5.4	16.2	5.0	5.0	20.0
	講義や講話を受ける	6.2	6.2	2.4	7.2	5.6	8.1	10.9	13.6	10.5	2.8	4.6	2.9	6.6	3.5	3.6	9.7	4.7	5.1	7.7	3.8	4.6	10.0	2.5	2.5

「必要でない」＋「あまり必要でない」が10%以上20%未満

「必要でない」＋「あまり必要でない」が40%以上

「必要でない」＋「あまり必要でない」が20%以上40%未満

※数値は割合

表 8 千葉県教職ライフステージ研修の内容（平成 27 年度）①

千葉県 教職ライフステージ研修の内容

平成27年度

[illegible]

表 8 千葉県教職ライフステージ研修の内容（平成 27 年度）②

千葉県 教職ライフステージ研修の内容

平成27年度

	小初	中初	高初	特初	小中 フオⅠ	高 フオⅠ	特 フオⅠ	小中 フオⅡ	高、特 フオⅡ	小5	中5	高5	特5	小ステ	中ステ	高ステ	特ステ	小10	中10	高、特 10		
指導力の向上	10. 児童生徒理解に関する研修																					
	教育相談	○	○	○	○								○									
	見立てシート	○	○																			
	問題行動に対する理解と対応		○																			
	11. 特別支援教育に関する研修																					
	特別支援教育を学ぶ	○	○																			
	特別支援学校に学ぶ	○																				
	特別な教育的支援が必要な児童の理解と指導	○											○		○	○						
	特別支援学校参観・協議	○			○																	
	特別支援学校の役割													○								
	インクルーシブ教育を目指して			○	○																	
	高等学校における特別支援教育の在り方			○																		
	個別的教育支援計画と個別の指導計画づくり				○																	
	学習指導と評価				○																	
	自立活動の指導				○																	
	特別支援学校における進路指導				○																	
	障害者の雇用と学校教育				○																	
	自閉症のある児童生徒の行動のとらえ方と指導				○																	
	障害を持つ子どもたちの行動の様子				○															○特		
	個に応じた指導の工夫													○								
	障害のある児童生徒の健康と安全				○																	
	ICFに基づく支援の視点について				○																	
	教材の開発及び活用について				○																	
	12. 児童生徒と教師，児童生徒同士の人間関係づくりや集団づくりに関する研修																					
	人間関係づくり	○	○																			
コーチングの方法と実際		○	○																			
コミュニケーションワークの実際			○																			
13. 児童生徒の思いやりの心や，豊かな人間性を育むための研修																						
いじめ防止，人間関係づくり	○	○								○	○											
学校人権教育の推進	○	○	○																			
14. 児童生徒の健康や安全に関する研修																						
健康教育・安全教育・食育	○	○		○						○	○											
体育・健康に関する教育		○								○	○											
学校の管理運営	15. 学校全体の教育の方向性や組織のあり方に関する研修																					
	校務を推進する企画力																	○	○			
	組織マネジメントの考え方・進め方																		○			
	16. 校内研修のあり方や進め方に関する研修																					
	校内研修の進め方，かかわり方																	○	○			
	17. 学校の危機管理に関する研修																					
	学校安全	○		○	○																	
	18. 保護者や地域との関わり方に関する研修																					
	家庭・地域社会との連携，信頼関係づくり		○		○								○	○	○	○			○	○		
	19. メンタルヘルスに関する研修																					
教職員のストレスマネジメント，メンタルヘルス	○	○	○	○	○											○						
教職員の福利厚生			○																			
その他	そ の 他																					
	生徒指導・教育相談・特別支援教育の協働			○																		
	先輩教員の話聞く，協議	○	○	○	○																	
	課題探求，自身の教育実践発表，協議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	スピーチコンテスト～私が伝えたいこと～			○																		
	学習指導要領と教育課程			○																		
	市町村研修	○	○																			
	異校種交流	○	○	○	○																	
	他校研修	○	○																			
	体験研修				○	○	○	○	○	○									○	○	○	
	農業関係高等学校等体験研修		○																			
	教師力アップ研修(自主研修)					○	○	○	○	○												
	授業公開，初任者等の支援，若手教員研修チーム										○	○	○	○	○	○						
	学習環境整備の推進			○																		
	「生きる力」について						○											○				
	指導要録の機能と作成上の留意点				○																	

千葉県総合教育センター研究報告第427号

テーマ 研修事業充実のための調査研究
～「千葉県教職員研修体系」に基づく「教職ライフステージ研修」を中心に～
研究対象校 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校
研究領域 教職員研修

「教職ライフステージ研修」を中心に、研修についての研修生、管理職の意識を中心に調査した。また、市町村教育委員会が独自で実施している研修事業や県（総合教育センター）が実際に行っている研修事業についても把握し、現行の教職員研修体系の成果や課題を明らかにするとともに、研修事業充実のための一助とする。

【検索語】 研修，研修体系，教職ライフステージ，調査研究，悉皆，ステージ，フォローアップ，初任者研修，10年経験者研修，5年経験者研修，ステップアップ，研修生，管理職，研修内容，研修方法，市町村教育委員会，研修事業

研究報告 第427号

研究報告「研修事業充実のための調査研究」
～「千葉県教職員研修体系」に基づく
「教職ライフステージ研修」を中心に～

平成29年3月31日

編集発行者 千葉県総合教育センター所長
安藤 久彦

発行所 千葉県総合教育センター

〒261-0014 千葉市美浜区若葉2丁目13番
TEL 043（276）1166
FAX 043（272）5128
